MOTOROLA **PHOTON**™
ISW11M

取扱説明書（詳細版）

IS series

ごあいさつ

このたびは、MOTOROLA PHOTON™ ISW11M(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書(詳細版)』をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書ダウンロード

本製品の取扱説明書は、「設定ガイド」「クイックスタートガイド」「セーフティガイド」「取扱説明書(詳細版)」をご用意しており、auホームページからダウンロードできます。
パソコンから:http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html
なお、「設定ガイド」「クイックスタートガイド」「セーフティガイド」は本製品に同梱されております。
また、取扱説明書(詳細版)(本書)は、本製品には同梱されておりません。取扱説明書(詳細版)では主に、本製品の基本的な操作や主な機能の概要を中心に記載していますので、同梱の「設定ガイド」「クイックスタートガイド」「セーフティガイド」で記載されていることを割愛している場合があります。あらかじめご了承ください。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

memo

◎ 取扱説明書は、取扱説明書作成時の最新情報に基づいて作成されています。本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
◎ 取扱説明書では、ホーム画面からの操作を主に説明しています。本製品の設定状況や使用状況により、説明の通りに操作できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎ 取扱説明書に掲載されているイラストおよび画面は、実際の製品とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
◎ 本書では、「設定ガイド」「クイックスタートガイド」「セーフティガイド」「取扱説明書(詳細版)」を総称して「取扱説明書」と表記しています。
◎ 本書では「microSDHC™メモリカード」および「microSD™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」と省略しています。

本製品をご利用いただくにあたって

◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
◎ 本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。）
◎ 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
◎「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
◎ 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
◎ お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
◎ 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、「海外利用」（▶P.78）をご参照ください。

マナーを守ろう

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

一部の機能、サービスやアプリケーションの利用について

- 一部の機能、サービスやアプリケーションの利用には、インターネット接続が必要です。なお、インターネット接続の契約内容によっては追加料金が発生する場合があります。詳しくは、サービスプロバイダにお問い合わせください。
- 一部の機能、サービスやアプリケーションの利用には、追加料金が発生する場合があります。詳しくは、サービス提供会社などにお問い合わせください。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記載内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 事故や本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、本体やmicroSDメモリカードに登録されたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータは別途パソコンのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては一切責任を負いません。

※本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
製造元：Motorola Mobility, Inc.

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

目次

はじめに

各部の名称と機能

※明るさセンサー／近接センサーやその周囲を、市販の保護カバーやシールなどで覆わないでください。誤動作の原因となることがあります。

memo

◎ メールを受信したり※、カレンダーに予定を登録していたり※、電池残量が少なくなると、通知ランプが点滅します。
※スリープモード中のみ点滅します。

電池パックの取り外しかた／取り付けかた

指定の電池パックをご使用ください。

■電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本製品の電源を切ってください。

1 電池フタ下部のくぼみに指をかけ、電池フタを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

2 電池パックのくぼみを利用して、電池パックを取り外す

memo

◎電池パックを取り外すときは、指定の方向へ持ち上げてください。指定の方向以外から持ち上げようとすると、本体の接続部を破損するおそれがあります。

■電池パックを取り付ける

1 電池パックの端子部分を本体の端子部分に合わせてから、矢印の方向に確実に取り付ける

2 電池フタ下部のツメを本体下部のくぼみに合わせてから、矢印の方向に取り付ける

左右のツメもしっかりはめて、電池フタ全体に浮きがないことを確認してください。

memo

◎取り付け時に指定以外の取り付け方をすると、電池パックおよび電池フタの破損の原因となります。

microSDメモリカードの取り付けかた／取り外しかた

memo

◎ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

■ microSDメモリカードを取り付ける

電池フタを取り外して①を持ち上げ、microSDメモリカードの金属端子面を下にしてゆっくり奥まで差し込み、①を戻します。

※ ①の下にSIMカードを挿入するスロットがありますが、本製品はSIMカードはご利用になれませんので、ご注意ください。

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

◎ 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります(2011年8月現在)。
その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

バッファロー	2GB、4GB、8GB、16GB
Panasonic	2GB、4GB、8GB、32GB
ソニー	2GB、4GB、8GB
東芝	16GB、32GB
SanDisk	16GB、32GB

※ 本製品では、2011年8月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

◎ microSDメモリカードの空き容量を確認するには、ホーム画面で ▣ をタップ→「設定」をタップ→「SDカードと端末容量」をタップして、「SDカード」の「空き容量」を確認してください。

◎ 音楽や写真やその他のファイルは、自動的に本製品の内部ストレージに保存されます。アプリケーションによっては、microSDメモリカードを挿入すると保存先をmicroSDメモリカードに切り替えられます。

■ microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す前に、メモリカードのマウントを解除してください。

解除方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「設定」をタップ→「SDカードと端末容量」をタップ→「SDカードの取り外し」をタップします。

マウントを解除したら、電池フタを取り外して①を持ち上げ、microSDメモリカードをまっすぐ引き出してください。

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

■microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットする前に、メモリカードのマウントを解除してください。

起動方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「設定」をタップ→「SDカードと端末容量」をタップ→「SDカードの取り外し」をタップ→「SDカードのフォーマット」をタップします。

◎microSDメモリカード内の全データが削除されます。

充電

付属のmicroUSBケーブルとACアダプターを使って充電します。

充電時間は約140分です。

付属のmicroUSBケーブルをACアダプターに接続し、ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込んで、本体と付属のmicroUSBケーブルを図のように接続してください。

充電中は通知ランプが点灯します。
電池レベルによって、点灯する色が変わります。

赤色	電池残量少
オレンジ色	充電中
緑色	充電完了

※ただし、本体の電源が入っているときは点灯しません。

注意：電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

起動

Ⓞを長押しして電源を入れます。
初めて電源を入れたときは、「設定ガイド」の説明に従って初期設定を行ってください。

■ 電源を切る

電源を切るときは、「電話機のオプション」ポップアップ画面が表示されるまでⓄを押したままにする→「電源オフ」をタップしてください。

memo

◎「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.100）には、本製品をお使いになる方やほかの人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。必ずお読みください。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

◎電池を長持ちさせるための設定については、「電池を長持ちさせるためのヒント」（▶P.17）をご参照ください。

◎インターネット接続の契約内容によっては、インターネット閲覧またはデータのダウンロードを行うと追加料金が発生する場合があります。詳しくは、サービスプロバイダにお問い合わせください。

◎周辺機器についてもっと知りたいときは、auホームページ
（http://www.au.kddi.com/）にてご確認ください。

キックスタンド

キックスタンドを使って本製品を立てた状態でビデオを視聴できます。キックスタンドを開くには、くぼみに指をかけて持ち上げます。

キックスタンドを開くと、画面が回転して横画面になります。

設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「表示」をタップ→「Kickstandの有効化」をタップしてオンにすると、キックスタンドを開くと画面が回転して横画面になります。

基本操作

本製品を使いこなすための基本的な操作を説明します。

タッチ&ナビゲーション

ディスプレイ(タッチパネル)のオン/オフ

しばらく何も操作しないと、ディスプレイはオフになります(スリープモードが起動します)。

- スリープモードを起動したり、解除するには、[電源キー]を押します。
- 本製品を耳に近づけて通話しているときは、誤操作を防ぐためにディスプレイはオフになります。耳から離すとディスプレイがオンになります。
- 画面がスリープモードになるまでの時間は変更できます。

設定方法: ホーム画面で [アイコン] をタップ→「[アイコン] 設定」をタップ→「表示」をタップ→「画面消灯」をタップします。

- スリープモードになったときに画面をロックするには、画面ロックを利用します(▶P.73)。

memo

◎図のセンサーが覆われていると、タッチパネルが暗いままになる場合があります。センサーを覆うカバーやディスプレイ保護フィルム(透明なものも含む)を使用しないでください。

タッチの種類

本製品のディスプレイはマルチタッチ対応のタッチスクリーンになっており、指で直接触れて操作します。

memo

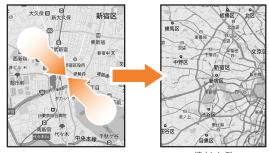
◎指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
◎タッチペンなどでは動作しません。指で操作してください。
◎ディスプレイに水滴があったり、濡れた手や爪で操作すると誤動作の原因となります。

- **タップ:** 画面の項目やアイコンを指で軽く触れます。

- **ロングタッチ:** 画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューを表示したり、ホーム画面でアイコンを移動する場合に使います。

ホーム画面の壁紙をロングタッチした例

- **ドラッグ／フリック：** 画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動したり（ドラッグ）、素早くはらうように操作します（フリック）。スクロールする場合に使います。

- **ピンチ：** 画面を2本の指で触れ、指の間隔を広げたり狭めたりします。GoogleマップやWebページなどを拡大／縮小する場合に使います。

縮小した例

memo

◎フリックしてスクロールしたときは、画面をタップするとスクロールが止まります。

◎Googleマップを表示しているときは、画面を2本の指で触れて地図を回転したり、地図の傾きを調整できます。

ナビゲーションキーの使いかた

- **メニューキー：**表示中の画面に関するメニューを表示します。
- **ホームキー：**ホーム画面に戻ります。ロングタッチすると、最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。表示されたアプリケーションをタップすると、アプリケーションを起動できます。
- **バックキー：**前の画面に戻ります。
- **検索キー：**テキスト検索を行います。ロングタッチすると音声検索を行います。

「電話機のオプション」ポップアップ画面

[電源キー]を押したままにすると、「電話機のオプション」ポップアップ画面が表示されます。このポップアップ画面で、サイレントモードや航空機内モード（機内モード）の設定／解除ができたり、電源を切ったりできます。

音量調節

音量キーを押します。

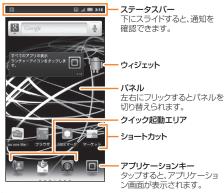
- ホーム画面で押すと、着信音量を変更できます。
- 通話中に押すと、通話音量を変更できます。
- 音楽やビデオファイルの再生中に押すと、メディア音量を調節できます。

画面の回転

多くのアプリケーションでは、本製品を縦または横に持ち替えると画面が回転します。

設定方法： ホーム画面で[アプリケーションキー]をタップ→「[設定アイコン]設定」をタップ→「表示」をタップ→「画面の自動回転」をタップしてオンにすると、本製品の向きに合わせて画面が回転します。

ホーム画面

ホーム画面には、重要な情報が表示されます。アプリケーションの起動中などでも[ホームキー]をタップするといつでも表示できます。

- **ウィジェット：** 最新情報が表示されます。一部のウィジェットでは、ホーム画面で内容を確認できます。アプリケーションを起動する必要はありません。
- **ショートカット：** お気に入りのアプリやブックマークなどを配置できます。
- **パネル：** ホーム画面は複数のパネル（7画面）で構成されており、左右にフリックするとパネルを切り替えられます。また、パネルごとにウィジェットやショートカットを配置できます。

- **アイコン：** ステータスバーには、本製品の状態を示すアイコンが表示されます。

	Bluetooth®機能オン		電波状態（圏外時は ）
	GPS測位中		ローミング中
	無線LAN接続中		WiMAX接続中
	ダウンロード中		WiMAX休止状態※
	バイブあり（マナーモード）		3Gデータ通信有効
	バイブなし（マナーモード）		CDMA 1Xデータ通信有効
	マイクミュート		機内モード
	スピーカーフォン オン		データ同期中
	ローミング先で通話が可能な状態		アラーム設定中
	通話中		電池レベル
	モトローラ電話ポータル		充電中
	USB接続中		不在着信

※WiMAX通信が行われていない時間が続くと、WiMAX休止状態のアイコンが表示されます。
再び通信が行われるとWiMAX接続中のアイコンが表示されます。

memo

◎画面はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

ホーム画面のカスタマイズ

■ウィジェット、ショートカット、壁紙のカスタマイズ

ホーム画面で →「追加」をタップすると、「ホーム画面に追加」ポップアップ画面が表示されます。
このポップアップ画面から、ホーム画面にウィジェットやショートカットを追加したり、壁紙を変更することができます。

memo

◎ホーム画面に表示されているウィジェットやショートカットなどを移動したり削除するには、項目をロングタッチして、別の場所や別のパネルにドラッグしたり（移動）、画面上部に表示されるごみ箱にドラッグします（削除）。

◎ウィジェットによってはサイズを変更できる場合があります。ウィジェットをロングタッチして、画面の四隅にサイズ変更アイコンが表示されたときは、サイズ変更アイコンをドラッグします。

■主なウィジェット

主なウィジェットは以下のとおりです。

- **メッセージウィジェット：**メッセージを確認できます。ウィジェットをタップ→「ウィジェット設定」をタップすると、ウィジェットの名前を変更したり、新着メッセージを表示する期間を設定したりできます。PCメールアカウントを追加するには、「PCメールアカウントの追加」（▶P.24）をご参照ください。
- **音楽ウィジェット：**プレイリストを再生できます。曲名をタップすると、音楽アプリが表示されます。音楽の再生については、「音楽」（▶P.54）をご参照ください。
- **ニュースウィジェット：**ニュースを確認できます。ウィジェットをタップすると、ウィジェットの名前を変更したり、新着記事を表示する期間やニュースソースを選択したりできます。ニュースソースを追加するには、＋をタップします。
- **天気ウィジェット：**天気を確認できます。ウィジェットをタップ→［メニュー］→「設定」をタップすると、気温の単位を変更したり、都市を追加したりできます。都市を追加するには、＋をタップします。追加した都市の天気は、ウィジェットをタップ→左右にフリックすると表示されます。

  ※日本国内の都市を漢字で検索できないときは、ローマ字で検索してみてください。
  例：Shinjuku

■クイック起動エリアのカスタマイズ

クイック起動エリアは、常にホーム画面の下部に表示され、3つのアプリを配置できます。クイック起動エリアにアプリを配置するには、クイック起動エリアのアイコンをロングタッチ→配置するアプリをタップします。

検索

［検索］をタップすると、検索画面が表示されます。

◎使用中のアプリケーションによっては、［検索］をタップしたときに表示される画面が異なります。
例えば、連絡先表示中に［検索］をタップすると、連絡先の検索画面が表示されます。

通知パネル

画面上部のステータスバーを下にスライドすると、通知パネルが表示されます。通知をタップするとその通知に関連する情報が表示されます。

◎通知パネルに「⊖」が表示されているときは、「⊖」をタップすると、通知を消去できます。

アプリケーションの起動

すべてのアプリケーションは、アプリケーションメニューから起動できます。

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップします。

お買い上げ時にアプリケーションメニューに表示されているアプリケーションについては、「アプリケーション一覧」（▶P.95）をご参照ください。

最近使用したアプリケーション

⌂ をロングタッチすると、最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます。

表示されたアプリケーションをタップすると、アプリケーションを起動できます。

memo

◎ 次の操作でも、最近使用したアプリケーションの一覧を表示できます。

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→アプリケーションメニュー左上の「▣」をタップ→「最近」をタップします。

文字入力

文字を入力するにはソフトウェアキーボードを使用します。
文字入力欄をタップすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。
をロングタッチするか、をタップすると、ソフトウェアキーボードが非表示になります。
- 文字、数字、記号、顔文字の入力の切り替えが簡単です。

入力オプション

入力オプションを変更するには、「文字」をロングタッチします。
- **各種設定:** キー操作音や、自動大文字変換、予測変換など、文字入力に関する設定を行います。
- **テンキー⇔フルキー:** テンキー表示とフルキー表示を切り替えます。

テンキー表示　フルキー表示

- **入力モード切替:** 入力モード(ひらがな漢字、全角カタカナ、半角カタカナなど)を切り替えます。
  「文字」をタップすると、主な入力モードを切り替えることができます。
- **入力方法:** ソフトウェアキーボードを「Androidキーボード」と「iWnn IME」(本製品標準のソフトウェアキーボード)に切り替えます。
  入力方法は、文字入力欄をロングタッチ→「入力方法」をタップしても切り替えられます。

文字入力のヒント

目的	操作
数字や記号、顔文字を入力する	「文字」または「記号」をタップして、数字や記号、顔文字を入力する画面を表示します。
漢字を入力する	• ひらがなを入力→予測変換候補をタップします。 • ひらがなを入力→「変換」をタップ→変換候補をタップします。
ひらがな／カタカナ／英字／数字／年月日／時刻を入力する（テンキー表示時のみ）	ひらがなを入力→「英数カナ」をタップ→変換候補をタップします。 例:「あ」→「か」→「さ」→「わ」→「英数カナ」の順にタップすると、「アカサワ」「1230」「12:30」「12/30」などが候補に表示されます。
文字(テキスト)を選択して切り取り／コピーする	文字(テキスト)をロングタッチ→「語句を選択」をタップ→範囲を指定→文字(テキスト)をタップ→「切り取り」／「コピー」をタップします。
切り取り／コピーした文字(テキスト)を貼り付ける	／をタップして貼り付ける位置にカーソルを移動→文字(テキスト)をロングタッチ→「貼り付け」をタップします。
文字を削除する	をタップします。 ロングタッチすると、連続して文字が削除されます。

ヒント／テクニック

便利なヒントを紹介します。

一般的なヒント

目的	操作
ホーム画面に戻る	をタップします。
最近電話した番号を確認する	ホーム画面で「電話」をタップ→「通話履歴」をタップします。
スリープモードにする／解除する	を押します。
画面がスリープモードになるまでの時間を変更する	ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「表示」をタップ→「画面消灯」をタップします。
検索する	をタップします。
音声検索を利用する	をロングタッチします。
最近使用したアプリケーションを表示する	をロングタッチします。
クイック起動エリアのアプリを変更する	クイック起動エリアのアイコンをロングタッチ→配置するアプリをタップします。
音をオン／オフする	を長押し→「サイレントモード」をタップします。
機内モードをオン／オフする	を長押し→「航空機内モード」をタップします。
FMラジオを聞く	付属のステレオヘッドセットを接続してから、ホーム画面で をタップ→「FMラジオ」をタップします。 • ヘッドセットのケーブルがアンテナの役割をします。なお、室内で聴く場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

電池を長持ちさせるためのヒント

電池を長持ちさせるために、以下の操作をお試しください。

- 本製品の使用状況に合わせてバッテリーモードを選択します。
  設定方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「バッテリーとデータ管理」をタップ→「バッテリーモード」をタップ→バッテリーモードをタップします。
- Googleアカウントの自動同期をオフにします。
  設定方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「アカウント」をタップ→Googleアカウントをタップして設定を変更します。
- アプリケーションの自動同期をオフにします。
  PCメールとソーシャルアプリケーションの自動同期をオフにします。
  設定方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「バッテリーとデータ管理」をタップ→「データの配信」をタップして設定を変更します。
- WiMAXを使用していないときは、WiMAXをオフにします。
  設定方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「WiMAX」をタップしてオフにします。
- 無線LAN機能（Wi-Fi®）を使用していないときは、無線LAN機能（Wi-Fi®）をオフにします。
  設定方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Wi-Fi」をタップしてオフにします。
- Bluetooth®機能を使用していないときは、Bluetooth®機能をオフにします。
  設定方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Bluetooth」をタップしてオフにします。

カスタマイズ

ホーム画面

ホーム画面のウィジェット、ショートカット、壁紙をカスタマイズできます。詳しくは、「ホーム画面のカスタマイズ」(▶P.13)をご参照ください。

音

■マナーモード

設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「音」→「マナーモード」をタップしてオンにします。

■着信音／通知音

設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「音」→「着信音」または「通知音」をタップします。

■バイブ

着信や通知があった場合にバイブを動作させるかどうかを設定します。

設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「音」→「バイブ」をタップします。

■効果音

- ダイヤルパッドの操作音をオンにします。
  設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「音」→「タッチ操作音」をタップしてオンにします。
- メニュー選択時の操作音をオンにします。
  設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「音」→「選択時の操作音」をタップしてオンにします。
- 音楽とビデオのオーディオ効果を設定します。
  設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「音」→「メディアオーディオの効果」をタップします。

■表示

- 画面の明るさを設定します。
  設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「表示」→「画面の明るさ」をタップします。
- 本製品を縦または横に持ち替えたときに画面を回転する機能をオンにします。
  設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「表示」→「画面の自動回転」をタップしてオンにします。
- アプリケーションによっては、画面の回転／フェードアウト／移動／拡大などをアニメーション表示できる場合があります。そのようなアニメーションの有効／無効を設定します。
  設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「表示」→「アニメーション表示」をタップします。

■日付と時刻

日付、時刻、タイムゾーン、表示形式を設定できます。

設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「日付と時刻」をタップします。

■表示言語

設定方法：ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「言語とキーボード」をタップ→「言語を選択」をタップします。

memo

◎ を長押し→「サイレントモード」をタップしても、マナーモードのオン／オフを切り替えることができます。

◎音楽アプリの音楽再生画面操作で →「着信音に設定」または「通知として使用する」をタップしても、着信音または通知音に設定できます。

◎バイブをオフに設定していても、アラーム設定時のバイブレーション設定をオンにしていると、アラーム時刻にバイブが動作します。

ヒント／テクニック

電話

電話をかける

発信方法: ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→電話番号を入力→「　」をタップします。

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力します。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 緊急通報位置通知は、日本国内のサービスです。海外では利用できません。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

通話中画面の見かた

memo

◎ Bluetooth®対応機器を使用するには、あらかじめペア設定を行う必要があります。詳しくは、「Bluetooth®対応機器の接続」(▶P.65)をご参照ください。
◎ 通話中に［ホーム］または［戻る］をタップすると、通話中画面は非表示になります。通話中画面を再表示するには、ホーム画面で「電話」をタップするか、画面上部のステータスバーを下にスライドして「現在の通話」をタップします。
◎ 本製品を耳に近づけて通話しているときは、誤操作を防ぐためにディスプレイはオフになります。耳から離すとディスプレイがオンになります。
◎ 通話が終了したら、通話中画面で「電話を切る」をタップします。

電話を受ける

電話を受けるには、着信中の画面で「電話に出る」をタップするか、［電話に出る］を右へドラッグします。
着信を拒否するには、着信中の画面で「着信拒否」をタップするか、［着信拒否］を左へドラッグします。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップする

2 国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力する

※1「0」をロングタッチすると「＋」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

3 「」をタップ→通話→「電話を切る」をタップする

memo

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から フリーコール 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00〜20:00

履歴を利用して電話をかける

電話の発着信履歴から電話をかけることができます。

発信方法： ホーム画面で「電話」をタップ→「通話履歴」をタップ→電話をかける相手の「」をタップします。

memo

◎連絡先へ追加／連絡先の表示／その他のオプションを選択するには、相手をロングタッチします。

◎一覧を消去するには、→「リストのクリア」をタップします。

よく電話する相手に電話をかける

発信方法： ホーム画面で「電話」をタップ→「お気入り」をタップ→電話をかける相手のアイコンをタップ→「」をタップします。

memo

◎連絡先詳細／その他のオプションを選択するには、相手をロングタッチします。

◎連絡先をお気入りに追加するには、連絡先の詳細画面を表示して右上の☆マークをタップします。☆マークが緑色のときは、お気入りに追加されています。

自分の電話番号の確認

確認方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「端末情報」をタップ→「端末の状態」をタップ→「電話番号」を確認します。

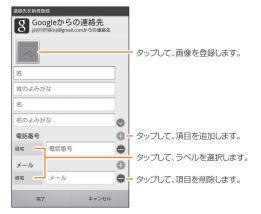
連絡先

名前や電話番号、住所などを登録できます。

起動方法： ホーム画面で をタップ→「連絡先」をタップします。

連絡先の作成

起動方法： ホーム画面で ■ をタップ→「 連絡先」をタップ→ →「連絡先を新規登録」をタップします。

アカウントの選択画面が表示されたときはアカウントを選択→「OK」をタップします。

入力が終了したら、「完了」をタップします。

■ 連絡先の保存場所について

連絡先を作成するアカウントによって保存場所が異なります。

アカウントの選択画面で「Google」アカウントを選択した場合は、本製品の内部ストレージとGoogleのサーバーに保存されます。

「電話のみ（非同期）」を選択した場合は、本製品の内部ストレージにのみ保存されます。

◎ 連絡先を作成しても連絡先一覧画面に表示されないときは、「表示オプション」（▶P.22）の設定を確認してください。

連絡先の確認

起動方法： ホーム画面で ■ をタップ→「 連絡先」をタップ→連絡先一覧画面で連絡先をタップします。

詳細画面で電話番号やその他の項目をタップして、電話をかけたりメールを送信したりできます。

表示オプション

連絡先一覧画面で →「表示オプション」をタップすると、連絡先一覧に表示する連絡先の条件を設定できます。

- **電話番号のある連絡先のみ：** オンにすると、電話番号のある連絡先のみを表示します。
- **表示する連絡先の選択：** 表示する連絡先のアカウントやグループを選択します。

連絡先の編集／削除

起動方法： ホーム画面で ■ をタップ→「 連絡先」をタップ→連絡先一覧画面で連絡先をタップ→ →「連絡先を編集」／「連絡先を削除」をタップします。

連絡先の同期

本製品で連絡先を変更すると、対応するアカウントの連絡先も更新されます。同様にアカウントの連絡先を変更すると、本製品の連絡先も更新されます。

グループの利用

連絡先のグループ(「友人」、「家族」、「仕事」など)を作成して、連絡先をグループに振り分けることができます。一度に1つのグループのみ表示することで、目的の連絡先をすばやく見つけることができます。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 連絡先」をタップ→「 」をタップしてグループ一覧画面を表示します。

- グループを作成する場合は、グループ一覧画面で「 」をタップします。
- グループの連絡先を確認する場合は、グループ一覧画面でグループをタップします。

コミュニケーション

メッセージ

メッセージの確認

テキストメッセージ(Cメール)、PCメール、ソーシャルメッセージなどを1つのアプリケーションでまとめて管理します。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 メッセージ作成」をタップ→確認するメッセージのアイコンをタップします。

memo

◎あらかじめ、PCメール(Eメール)やTwitterなど、本アプリが対応しているアカウントを作成してください。

◎一般受信ボックスでは、すべてのメッセージ(テキストメッセージ(Cメール)、PCメール、ソーシャルメッセージ)が混在して表示されます。特定の種類のメッセージのみ表示するには、一般受信ボックスの代わりに、表示したいメッセージの種類をタップします。

◎PCメールに返信/転送する場合は、PCメールを表示してから「 」をタップ→「返信」/「全員に返信」/「転送」をタップします。

◎オプションを表示するには、メッセージをロングタッチします。

■添付ファイルの受信

添付ファイルが付いたメッセージを受信した場合、ファイル名をタップするとファイルを表示できます。

memo

◎ファイルによってはファイル名をタップするとダウンロードが始まる場合があります。
◎ファイル名をロングタッチして保存したり、共有したりすることができます。
◎サイズの大きな添付ファイルを送受信する場合は、無線LAN機能(Wi-Fi®)を使用してください。

メッセージの作成

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 メッセージ作成」をタップ→「 」をタップします。

メッセージの種類(アカウント)を選択してから、宛先とメッセージを入力して「送信」をタップします。

PCメールでは をタップすると、「ファイルを添付」などのオプションを選択できます。

メッセージ作成アプリの設定

■PCメールアカウントの追加

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 アカウント」をタップ→「アカウントの追加」をタップします。

- **Eメール：** 個人のPCメールアカウントです。アカウント情報については、ご利用のサービスプロバイダにご確認ください。
- **コーポレート同期：** 会社などのExchangeサーバーのPCメールアカウントです。設定については、会社などのIT管理者にご確認ください。

■詳細設定

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 メッセージ作成」をタップ→ をタップします。

- **作成：** メッセージを作成します。
- **アカウントの管理：** アカウントを追加または削除します。
- **ユニバーサル受信ボックスの編集：** 一般受信ボックスに表示するメッセージのアカウントを選択します。
- **メッセージ作成の設定：** アカウントの種類ごとに通知設定などを行えます。

Cメール

携帯電話同士で電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。最大全角70／半角140文字まで受信できます。本製品では受信のみに対応しています。

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 テキストメッセージング」をタップします。

◎本製品ではCメールの作成・送信はできません。
◎Cメールの受信料は、無料です。
◎全角51／半角101文字以上のCメールは、分割され2通のCメールとして受信します。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

緊急地震速報

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

memo

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎緊急地震速報は、情報料、通信料とも無料です。
◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/(パソコン用)

au one メール

au one メールは、情報料無料･大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール(×××@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。
また、PCメールでau one メールを利用することができます。
PCメールで利用する場合は、au oneメールの会員登録を行った後、以下の設定を行う必要があります。

- au one メールのデスクトップ画面(▶P.26)で[設定]→[メール転送とPOP/IMAP設定]と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する
- au one メールのデスクトップ画面(▶P.26)で[設定]→[アカウント]→[Googleアカウントの設定]→[メールパスワード設定]と操作し、メールパスワードを設定する

memo

◎au one メールの機能や設定については、ホーム画面で[ ]→[au one]→[PC版]→[ヘルプ]→[au one メール]と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau one-IDが必要です。au one-IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 Eメールトップ画面(▶P.32)で[ ]→[au one メール]→[au one メールTop]

2 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

コミュニケーション

3 [今は保存しない]/[保存]/[保存しない]

会員登録画面が表示されます。
「保存」/「保存しない」をタップした場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む

5 [規約に同意して登録する]

登録内容の確認画面が表示されます。

6 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面(▶P.32)で →[au one メール]→[au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。
ホーム画面で[ ]→[au one]→[メール]と操作しても、デスクトップ画面を表示できます。

2 「au one メール表示形式:」の「標準HTML」をタップ

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
画面を上へスライドして「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■ au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド(最初のメールへの返信)単位で表示されます。重要なメールにスター(星印)を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール(×××@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます(▶P.40)。

Gmail™

メールの作成

起動方法： ホーム画面で ◻ をタップ→「✉Gmail」をタップ→ ⊞ →「新規作成」をタップします。

宛先とメッセージを入力して「✉」をタップします。

◎ ⊞ をタップして、添付やCc/Bccを追加などのオプションを選択できます。

Gmail™のヒント

目的	操作
Eメールの検索	メッセージ一覧画面で ⊞ →「検索」をタップします。
通知方法の設定	メッセージ一覧画面で ⊞ →「その他」をタップ→「設定」をタップ→アカウントをタップして、「通知設定」を設定します。
スレッドへのラベルの適用	メールをロングタッチ→「ラベルを変更」をタップします。

Google Talk™

インスタントメッセージサービスGoogle Talkを利用して、別のGoogle Talkユーザーとインスタントメッセージによるチャットを楽しめます。

Google Talkは、Google Talk対応スマートフォンや、ウェブで利用できます。

起動方法： ホーム画面で ◻ をタップ→「talk トーク」をタップします。

◎ ⊞ をタップすると、招待状を送信して新しい友だちを追加したりできます。

◎ Androidマーケットから、Googleトークに対応したインスタントメッセージアプリをダウンロードして利用することもできます。

Eメール

Eメール（×××@ezweb.ne.jp）はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章の他、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめEメールアドレスの初期設定が必要です。Eメールアプリの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行ってください。
- Eメールを利用するには、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールは海外でもご利用になれます。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールを送る

1 ホーム画面で［ ］→［新規作成］

送信メール作成画面が表示されます。

《送信メール作成画面》

2 ［ ］

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを付ける→［選択］** • ［ ］→［削除］→Eメールアドレスにチェックを付ける→［削除］→［削除］と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	本製品に登録されているお客様のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄をタップ→本文を入力→［完了］

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 ［送信］

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ｰ（長音）ﾞ（濁点）ﾟ（半濁点）､｡･｢｣』は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
◎auの絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されて届きます。
※絵文字によっては変換されない場合があります。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどに送信した絵文字は、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

1 送信メール作成画面を表示

■ 宛先を追加する場合

2 未入力のアドレス入力欄の「 」をタップ

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送る」（▶P.28）の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

2 入力済みのアドレスの「×」をタップ→［削除］

■ 宛先の種類を変更する場合

2 入力済みのアドレスの「To」をタップ

3

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

◎一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→添付データ欄をタップ

2

SDカード	内部ストレージのデータを添付します。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	フォトを撮影して添付します。
カメラ（動画）	ムービーを撮影して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

◎１データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎データを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面→削除したいデータの「×」をタップ

2 ［削除］

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→［絵文字］

2 ［D絵文字］／［ピクチャ］→［▲］

3

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

Eメール

■内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [microSD]→[ダウンロード]

3

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	内部ストレージに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます（デコレーションメール）。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→ ⇦ ／ ⇨ で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

[⊞]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	内部ストレージやギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]

memo

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。

◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。

※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

※Flash®は20件のうち最大2件まで挿入できます。ただし、同一のFlash®は挿入できません。

※挿入できる画像／デコレーション絵文字／Flash®は、拡張子が「.jpg」「.gif」「.swf」のファイルです。

◎「Eメールにデータを添付する」（▶P.29）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。

◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。

◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。

◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめau one Marketから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面を表示→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 **[速デコ]**

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 **[確定]**

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 **ホーム画面で[ ]→[テンプレート]**

テンプレート一覧画面が表示されます。
→[SDカードから読み込み]と操作すると、内部ストレージ内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 **テンプレートをタップ→[メール作成]**

本文入力中にできること

1 **送信メール作成画面(▶P.28)→本文入力欄をタップ→**

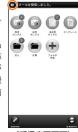
2

アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	本製品に登録されているお客様の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文/冒頭文/署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文/署名はあらかじめ登録してください(▶P.45)。
装飾全解除	全ての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

Eメールを受け取る

1 **Eメールを受信すると**

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

・ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

《受信完了画面》

2 **ステータスバーを下向きにドラッグ**

3 **[Eメール]**

Eメールトップ画面が表示されます。

4 **フォルダを選択→受信したEメールをタップ**

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに が点灯し、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.44)を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。
◎「メール自動受信」(▶P.44)を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り が点灯します。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.32)操作を行い、Eメールを受信してください。
◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字/半角約10,000文字(約10KB)までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 受信メール内容表示画面を表示

■ 受信済みの添付データを再生する場合

2 添付データをタップ→[表示]

■ 未受信の添付データを受信して再生する場合

2 未受信の添付データをタップ

受信が開始されます。

3 添付データをタップ→[表示]

memo

◎受信メール内容表示画面で添付データをタップ→[SDカードへ保存]と操作すると、添付データを内部ストレージに保存できます。

◎通常のEメール（テキストメール）では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif（アニメーションを含む）」のファイルです。

※データによっては、インライン再生されない場合があります。

◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶P.44）を自動受信しない設定にしている場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で[ ]→[新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

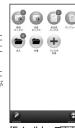
新着メールがなかった場合は、ステータスバーに が表示されます。

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[ ]

Eメールトップ画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

《Eメールトップ画面》

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

[返信]：返信のEメールを作成

[転送]：転送のEメールを作成

[保護]：Eメールを保護

[フラグ]：Eメールにフラグを付ける

▶：前のEメールを表示

◀：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。
[保護]:Eメールを保護
[フラグ]:Eメールにフラグを付ける
▶:前のEメールを表示
◀:次のEメールを表示

- 「再送信」をタップすると同じEメールをもう一度送信できます。
- 「コピー編集」をタップするとコピーして編集できます。

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 Eメールをタップ

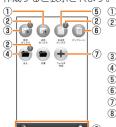
未送信メール内容表示画面が表示されます。
[保護]:Eメールを保護
[フラグ]:Eメールにフラグを付ける
▶:前のEメールを表示
◀:次のEメールを表示

- 「編集」をタップすると編集できます。
- 保護されたEメールの場合は、「コピー編集」をタップするとコピーして編集できます。
- 宛先が入力されているEメールの場合は、「送信」をタップすると送信できます。

memo

◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎Eメールトップ画面で[⊞]→[au one メール]→[au one メールTop]と操作すると、au one メールを利用できます。(▶P.25「au one メール」)
◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎送信ボックス·未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

■ Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《Eメールトップ画面》

① **送信ボックス**
② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
③ **受信ボックス**
④ **フォルダ**
⑤ **未送信ボックス**
⑥ **テンプレート**
⑦ **フォルダ作成**
⑧ **アクションバー**

■Eメール一覧画面の見かた

《メール一覧画面（受信ボックス）》

《メール一覧画面（送信ボックス）》

《メール一覧画面（未送信ボックス）》

《メール一覧画面（フォルダ）》

① ●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール
△：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール
② 件名

③ **宛先／差出人の名前またはEメールアドレス**
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

④ **:返信したEメール**
:転送したEメール
:返信／転送したEメール

⑤ **2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン**

⑥ **添付データあり**

⑦ **保護されたEメール**

⑧ **フラグあり**

⑨ **アクションバー**

⑩ **本文**

⑪ **:返信のEメール**
:転送のEメール

⑫ **送信に失敗したEメール／サーバに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール**

⑬ **受信／送信切替スライダー**
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

memo

◎横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■Eメール内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

① **送信メール**
To／CC／BCC:宛先の名前またはEメールアドレス
受信メール
From:差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC:宛先の名前またはEメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② :本文を未受信のEメール
:サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

③ **送信メール**
:返信のEメール
:転送のEメール／転送したEメール
受信メール
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール

④ Sub **:件名**

⑤ **:受信済みの添付データ**
:未受信の添付データ
※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他の添付データを表示できます。

⑥ **本文**

⑦ **次のEメール／前のEメールを表示**
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

⑧ 添付データあり
⑨ フラグあり
⑩ 保護されたEメール
⑪ アクションバー

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面（▶P.32）／送信メール一覧画面（▶P.33）／未送信メール一覧画面（▶P.33）／検索結果一覧画面（▶P.43）で［メニュー］**

2

検索	▶P.43「Eメールを検索する」	
移動	Eメールを移動します。 **移動したいEメールにチェックを付ける→［移動］→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.40）。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
削除	Eメールを削除します。 **削除したいEメールにチェックを付ける→［削除］→［削除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。	
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除したいEメールにチェックを付ける→［保護］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。	
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付けたい／外したいEメールにチェックを付ける→［つける］／［解除］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
その他	SDカードへ保存	Eメールを内部ストレージに保存します。 **コピーしたいEメールにチェックを付ける→［保存］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 内部ストレージに保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.47）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.40「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信したいEメールにチェックを付ける→［受信］** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.43「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面（▶P.32）／送信メール一覧画面（▶P.33）／未送信メール一覧画面（▶P.33）／検索結果一覧画面（▶P.43）で操作したいEメールをロングタッチ

2

項目		説明
返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。
保護／保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除		Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由		送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除		Eメールを削除します。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.40）。

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 受信メール内容表示画面（▶P.32）／送信メール内容表示画面（▶P.33）で

2

項目		説明
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。

転送	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.28）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.40）。	
削除	Eメールを削除します。	
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーしたい文字列の開始位置をタップする、または[ ]／[ ]でカーソルを移動→[選択開始]→[ ]／[ ]で選択範囲を指定→[コピー]** • 本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→[語句を選択]／[すべて選択]→「 」／「 」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。	
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。	

その他	SDカードへ保存	Eメールを内部ストレージに保存します。 • 内部ストレージに保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.47）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「SHIFT-JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。

※画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面（▶P.32）／送信メール内容表示画面（▶P.33）を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを選択

3

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛のEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。

Eメール

振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **［新規振分けフォルダ作成］／［「×××」（×××はフォルダ名）に追加］→［保存］** • ロックされたフォルダ（▶P.42）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.40「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.48「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→［コピー］

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS（Cメール）作成	本製品ではご利用になれません。
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択

3

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎ 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージに保存できます。

1 受信メール内容表示画面（▶P.32）／送信メール内容表示画面（▶P.33）で本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存したい画像にチェックを付ける

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

保存先選択画面が表示されます。

5 ［保存］

選択した画像が内部ストレージの「MyFolder」に保存されます。

memo

◎保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
◎未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.32）。

Eメールトップ画面でできること

1 **Eメールトップ画面（▶P.32）で［88］**

2

検索	▶P.43「Eメールを検索する」	
フォルダ編集	▶P.40「フォルダを作成／編集する」	
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除したいフォルダにチェックを付ける→［削除］→［削除］** ・ロックされたフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。	
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 ・ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。	
Eメール設定	▶P.43「Eメールを設定する」	
au one メール	au one メールTop	▶P.25「au one メール」
au one メール	au one メールへ自動保存	Eメール（×××@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **［次へ］→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→［OK］→画面に従って設定する** ・あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶P.25）。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 **Eメールトップ画面（▶P.32）で［フォルダ作成］**

フォルダ編集画面が表示されます。

《フォルダ編集画面》

2 **フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力**

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面（▶P.32）で［ ］→[フォルダ編集]→フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 [振分け条件追加]→[ ]

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** ・「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** ・「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■ 連絡先登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 [アドレス帳登録外]／[不正なメールアドレス]にチェックを付ける→[保存]

memo

◎振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「 」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
◎振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞･･･＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、通知ランプを設定できます。

1 Eメールトップ画面（▶P.32）で →［フォルダ編集］→受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 ［フォルダ別設定］

3

着信音	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音を設定します。 **［OFF］／着信音を選択→［OK］→［OK］→［保存］**
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］→［OK］→［保存］**
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知ランプを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］→［OK］→［保存］**
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.44）。

1 Eメールトップ画面（▶P.32）で →［フォルダ編集］→受信ボックス／作成したフォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

2 ［フォルダロック］→フォルダロック解除パスワードを入力→［OK］

「フォルダロック」にチェックが付きます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 ［保存］

フォルダを並び替える

1 Eメールトップ画面（▶P.32）で移動したいフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 そのまま指を離さず、移動したい位置にドラッグ

◎「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 Eメールトップ画面（▶P.32）で[メニュー]→［検索］

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面で[メニュー]→［検索］と操作します。

2 キーワード入力欄をタップ→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 ［検索］

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

《検索結果一覧画面》

■ 検索結果を絞り込む場合

4 ［From］／［To］／［件名］／［本文］

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 Eメールトップ画面（▶P.32）／受信メール一覧画面（▶P.32）／送信メール一覧画面（▶P.33）／未送信メール一覧画面（▶P.33）／検索結果一覧画面（▶P.43）で[メニュー]→（［その他］→）［Eメール設定］

Eメール設定メニューが表示されます。

Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

《Eメール設定メニュー》

2

受信･表示設定	▶P.44「受信･表示に関する設定をする」
送信･作成設定	▶P.45「送信･作成に関する設定をする」
通知設定	▶P.46「通知に関する設定をする」

パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更・その他の設定	▶P.46「アドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.47「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定メニューで[受信・表示設定]**

2

メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する。 • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除したいアドレスの[ ]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。 • 受信メール一覧画面(▶P.32)で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。

添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定メニューで[送信・作成設定]**

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※Flash®は1件のみ挿入できます。 ※冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※Flash®は1件のみ挿入できます。 ※冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定メニューで[通知設定]

2

着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 **[OFF]/着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]/パターンを選択→[OK]**
LED	Eメール受信時の通知ランプを設定します。 **[OFF]/パターンを選択→[OK]**
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定メニューで[アドレス変更・その他の設定]→[OK]

2

Eメールアドレスの変更	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター オススメの設定はこちら	▶P.48「迷惑メールフィルターを設定する」

自動転送先	本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 •「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとに内部ストレージにバックアップすることができます。また、内部ストレージに保存したバックアップデータを本製品へ読み込むことができます。

Eメールをバックアップする

1 Eメール設定メニュー（▶P.43）で[バックアップ・復元]

2 [SDカードへバックアップ]

3 バックアップしたいフォルダにチェックを付ける→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定メニュー（▶P.43）で[バックアップ・復元]

2 [SDカードから復元]

3 [受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]／[SDカードから探す]→[OK]

4 復元したいバックアップデータにチェックを付ける→[OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]／[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付ファイルはバックアップされません。
◎バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます)、バックアップしたEメールを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定メニュー(▶P.43)で[アドレス変更・その他の設定]→[OK]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルター]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。
	指定受信リスト設定(なりすまし・転送メール許可)	「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。

PC設定用ワンタイムパスワード発行	▶P.49「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信
◎「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト（なりすまし・転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

マルチメディア

写真

写真を撮影したり、撮影した写真をインターネットで共有したりできます。

写真の撮影

写真を撮影して、だれでも見られるように、インターネットに投稿できます。

起動方法: ホーム画面で「 カメラ」をタップしてファインダー画面を表示します。

写真を撮影するには、 をロングタッチしてピントを合わせ、指を離します。

memo

◎鮮明な写真を撮影するには、撮影前に乾いた柔らかい布でレンズをきれいにしてください。
◎写真は本製品の内部ストレージに保存されますが、保存場所をmicroSDメモリカード(別売)に切り替えることもできます。
◎お買い上げ時は、写真の解像度はワイドスクリーンに設定されています。
◎撮影した写真は、写真撮影後に画面左下の縮小表示をタップすると確認できます。(縮小表示が非表示のときは、ファインダー画面をタップすると再表示されます。)

- (共有)をタップすると、写真をメールに添付またはオンラインサービスに投稿するなどして送信できます。写真の共有については、「写真/動画の共有」(▶P.53)をご参照ください。
- (クイックアップロード)をタップすると、オンラインアルバムに写真をアップロードできます。

また、写真確認中に をタップすると、オプションが表示されます。

- ギャラリーホーム:ギャラリーを起動します(▶P.53)。
- 編集:タイトルやタグを編集したり、回転やトリミングを行ったりします。
- 削除:写真を削除します。
- アルバムに追加:写真をギャラリーのアルバムに追加します。
- 名前を付けて設定:写真をソーシャルネットワークのプロフィール画像や連絡先の画像、壁紙に設定します。
- その他:地図など、その他のオプションが表示されます。

写真オプション

撮影を最適化するために調整できます。
ファインダー画面右側をタップすると、以下のオプションが表示されます。

- **シーン:**周囲の状況に合わせて、オート、ポートレート、景色、スポーツなどから選択します。
- **エフェクト:**写真の仕上がりに変化をつけます。通常、モノクロ、ネガなどから選択します。
- **フラッシュ:**オン、オフ、オートから選択します。
- **前/戻る:**前面カメラと背面カメラを切り替えます。
- **切り替え:**カメラ(写真)とビデオ(動画)を切り替えます。

カメラ設定

ファインダー画面で ⊞ →「設定」をタップすると、以下のオプションが表示されます。

・**写真の解像度：**写真の大きさを設定します。
・**露出：**開口時間（露光量）を設定します。
・**ストレージの場所：**写真を保存する場所を、電話機の内部ストレージ（本体）またはSDカード（microSDメモリカード）から選択します。

写真モード

ファインダー画面で ⊞ →「写真モード」をタップすると、写真モードを変更できます。

・**シングルショット：**1回に1枚ずつ撮影します。
・**パノラマ：**広範囲をカバーするために複数枚撮影し、それらをつなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成します。 をタップすると1枚目が撮影され、2枚目以降は本製品をゆっくりと上下左右のどちらかに動かしたり向きを変えると、ちょうど良いところで自動的に撮影されます。最後まで撮影すると、つなぎ合わせたパノラマ画像が作成されます。
・**マルチショット：**連写撮影をします。

写真のタグ付け

写真にタグを付けると、ギャラリーで写真を見るときにグループ分けをすることができます。
タグを作成するには、以下の手順を行います：

1 ファインダー画面で ⊞ →「タグ」をタップ→「カスタムタグ」をタップしてオンにする→「アクティブなカスタムタグ」をタップする

2 「ここにタグを入力」をタップ→タグを入力→「完了」をタップ→「 ⊕ 」をタップする

3 「完了」をタップする

作成したタグは「カスタムタグ」をオフにしたり、タグを削除するまで、撮影したすべての写真に付けられます。

memo

◎写真に位置情報タグを付けるには、ファインダー画面で ⊞ →「タグ」をタップ→「自動位置情報タグ」をタップしてオンにします。
なお、あらかじめホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「現在地情報とセキュリティ」をタップ→「無線ネットワークを使用」または「GPS機能を使用」のいずれかをタップしてオンにしてください。

動画

動画を撮影したり、撮影した動画をインターネットで共有したりできます。

動画の撮影

起動方法： ホーム画面で [アイコン] をタップ→「[アイコン]カムコーダ」をタップしてファインダー画面を表示します。

現在の撮影設定が表示されます。

録画可能時間が表示されます。

タップして、撮影します。

タップして、撮影した動画を表示します。

タップして、拡大／縮小します。

録画を開始するには、●をタップします。録画を終了するには、■をタップします。

◎鮮明な動画を撮影するには、撮影前に乾いた柔らかい布でレンズをきれいにしてください。

◎撮影した動画は、動画撮影後に画面左下の縮小表示をタップすると確認できます。（縮小表示が非表示のときは、ファインダー画面をタップすると再表示されます。）

- ▶（再生）をタップすると、動画を再生できます。
- [アイコン]（共有）をタップすると、動画をメールに添付またはオンラインサービスに投稿するなどして送信できます。ビデオの共有については、「写真／動画の共有」（▶P.53）をご参照ください。
- [アイコン]（クイックアップロード）をタップすると、オンラインアルバムにビデオをアップロードできます。
- [アイコン]→「削除」をタップすると、動画を削除できます。

HD動画の撮影

HD動画を撮影し、ハイビジョンテレビ（HDTV）やモニターで見ることができます。

HD動画を録画するには、ファインダー画面で[アイコン]→「設定」をタップ→「ビデオの解像度」をタップ→「高解像度（720p）」をタップします。

◎より質の高いHD動画を撮影するには、ファインダー画面右側をタップ→「シーン」または「エフェクト」をタップして設定します。

動画オプション

撮影を最適化するために調整できます。
ファインダー画面右側をタップすると、以下のオプションが表示されます。

- **シーン：**周囲の状況に合わせて、音声録音の設定を調整します。毎日、屋外、コンサート、物語、主題から選択します。
- **エフェクト：**動画の仕上がりに変化を付けます。通常、モノクロ、ネガなどから選択します。
- **ライト：**撮影場所の明るさに合わせて、カメラライトをオン／オフします。
- **前／戻る：**前面カメラと背面カメラを切り替えます。
- **切り替え：**ビデオ（動画）とカメラ（写真）を切り替えます。

カメラ設定

ファインダー画面で［⊞］→「設定」をタップすると、ビデオの解像度などを設定できます。

- **ビデオの解像度：**動画の大きさを設定します。

これ以外の項目については、「写真」の「カメラ設定」（▶P.51）をご参照ください。

memo

◎ファインダー画面で［⊞］→「ビデオメッセージ」をタップすると、ビデオメッセージモードに切り替えることができます。
ビデオメッセージモードでは、動画ファイル形式が3gp、ビデオの解像度は「QVGA（320×240）」固定になります。

◎ファインダー画面で［⊞］→「通常のビデオ」をタップすると、通常のビデオモードに切り替えることができます。
通常のビデオモードでは、動画ファイル形式がmp4になります。

写真／動画の表示

写真や動画を見たり、編集したり、共有したりできます。
起動方法：ホーム画面で［■］をタップ→「ギャラリー」をタップします。

撮影した写真や動画を表示します。
オンラインアルバム（ピカサ、Facebookなど）を表示します。
Wi-Fiネットワークで接続されているDLNA機器のメディアを表示します。
友人のオンラインアルバムを表示します。
本製品やmicroSDメモリカードに保存されている写真や動画を表示します。

写真／動画の共有

起動方法：ホーム画面で［■］をタップ→「ギャラリー」をタップします。

1 **「カメラロール」や「マイライブラリ」をタップする**

2 **写真／動画をタップし、［共有］をタップする**

3 **共有方法（Bluetooth、Eメール、オンラインアルバムなど）を選択する**

写真／動画の管理

起動方法： ホーム画面で をタップ→「ギャラリー」をタップします。

「カメラロール」または「マイライブラリ」で縮小画像をタップして、以下の操作を行います。

- 写真／動画を削除するには、→「削除」をタップします。
- 写真を、ソーシャルネットワークのプロフィール画像や連絡先の画像、壁紙に設定するには、→「名前を付けて設定」をタップします。

memo

◎本製品とパソコンとの間で写真／動画をコピーするには、「Motorola Media Link」（▶P.68）を利用できます。

写真／動画の編集

起動方法： ホーム画面で をタップ→「ギャラリー」をタップ→「カメラロール」をタップ→編集する写真／動画をタップ→→「編集」をタップします。

エフェクト適用、輝度や色の変更、サイズ変更などの詳細な編集機能も使用できます。

音楽

音楽の準備

■音楽のコピーに必要なツール

パソコンに保存した音楽をパソコンから本製品にコピーするためには、以下の環境が必要です。

- Microsoft® Windows®搭載パソコン、またはApple® Macintosh®
- 付属のmicroUSBケーブル
- microSDメモリカード（別売）
  本製品は32GBまでの取り外し可能なmicroSDメモリカードに対応しています（▶P.7）。

memo

◎Windows Media® Playerを使用して、パソコンと本製品の曲を同期させることもできます。Windows Media® Playerをダウンロードするには、以下のサイトをご覧ください。
http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/products/windows-media

■再生可能な音楽ファイル形式

本製品は以下のファイルを再生できます。

AMR-NB、AMR-WB、AAC（MPEG4 AAC-LC）、AAC+、Enhanced AAC+、MP3、8-bit Linear PCM、16-bit Linear PCM、8-bit A-Law PCM、8-bit mu-law PCM、WMA 10 Pro LBR（M2）

■使用可能なヘッドセット

ステレオイヤホン端子に有線のヘッドセットを接続したり、Bluetooth®機能対応のヘッドセットやスピーカーを接続したりできます（▶P.65）。

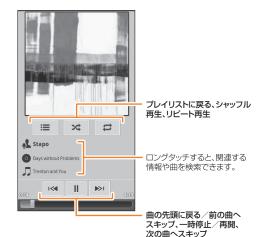
■音楽をコピーする

USB接続を利用して、パソコンから本製品やmicroSDメモリカードへ音楽を転送するには、「Motorola Media Link」（▶P.68）を利用できます。

音楽の再生

音楽を聴くことができます。

起動方法：ホーム画面で をタップ→「 音楽」をタップして音楽ライブラリを表示します。

画面上部の見出しをタップしてから、再生したい曲またはプレイリストをタップすると音楽再生画面が表示されます。

◎音楽ライブラリで →「すべてシャッフル」をタップすると、全曲のランダム再生ができます。

◎曲の再生中に →「プレイリストに追加」をタップすると、その曲をプレイリストに追加できます。

マルチメディア

音楽プレイヤーの操作

- **再生／一時停止：** ▶／⏸をタップします。
- **前／次の曲を選択：** ⏮／⏭をタップします。
- **早送り／早戻し：** ⏮／⏭をロングタッチします。
- **プレイリスト(曲一覧)を表示：** ☰をタップします。
- **シャッフル：** 🔀をタップします。
- **リピート：** 🔁をタップします。
- **音量調節：** 本製品側面の音量キーを押します。
- **スピーカー(音声出力)制御：** ⊞→「オーディオエフェクト」をタップします。
- **プレイリストに追加：** ⊞→「プレイリストに追加」をタップします。
- **着信音に設定：** ⊞→「着信音に設定」をタップします。
- **通知音に設定：** ⊞→「通知として使用する」をタップします。
- **削除：** ⊞→「削除」をタップします。

音楽アプリを非表示にする／呼び出す／終了する

⌂をタップすると、音楽の再生を続けたまま、別のアプリケーションを使用できます。
画面上部のステータスバーの▶は、音楽再生中であることを示しています。ステータスバーを下にスライドして、曲をタップすると音楽再生画面に戻ります。
音楽再生を終了するには、⏸をタップします。

プレイリスト

音楽ライブラリからプレイリストに曲を追加するには、追加したい曲をロングタッチ→「プレイリストに追加」をタップします。既存のプレイリストを選択するか、「新規」をタップしてプレイリストを作成します。

memo

◎再生中の曲をプレイリストに追加するには、音楽再生画面で⊞→「プレイリストに追加」をタップします。
◎音楽ライブラリでプレイリストをロングタッチすると、削除したり名前を変更できます。

FMラジオ

起動方法: ホーム画面で □ をタップ→「FMラジオ」をタップします。

memo

◎FMラジオを利用するには、付属のステレオヘッドセットを接続してください。ヘッドセットのケーブルがアンテナの役割をします。なお、室内で聴く場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ラジオ局のプリセット

FMラジオを初めて起動したときは、ラジオ局(ステーション)をすべてスキャンするかを確認する画面が表示されます。スキャンすると、見つかったすべてのラジオ局がお気に入りに登録されます。
お好みの周波数のラジオ局をお気に入りに登録するには、周波数をあわせてから、右上にある☆マークをタップします。

memo

◎お気に入りから削除するには、右上にある★マークをタップします。

ラジオ局を見つける

画面下部のダイヤルをドラッグして、周波数を合わせます。

インターネット

ソーシャルネットワーキング

ソーシャルネットワーキングアプリを使うと、主なネットワークサービスから更新された情報や写真、友だちリクエストなどの多くのサービスをまとめて確認できます。
また、ホーム画面のソーシャルネットワーキングウィジェット、ソーシャルのステータスウィジェット、ギャラリーウィジェットを使うと、自分や友だちの更新情報をまとめて確認できます。

アカウントの追加

Facebook、Twitterなどのアカウントを本製品に設定できます。対応するソーシャルネットワークのアカウントを取得していない場合は、それぞれのサイトで取得してください。

PCメールアカウントを設定するには、「PCメールアカウントの追加」(▶P.24)をご参照ください。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 アカウント」をタップ→「アカウントの追加」をタップ→本製品に設定するサービスをタップします。

アカウントにログインすると、連絡先の一覧にソーシャルネットワークの友人と連絡先が表示されます。そして自分のステータスと更新情報がソーシャルのステータスウィジェットに表示されます。

Twitterのメッセージは、新着メッセージがあれば通知でお知らせしますが、本製品では「既読」の状態で表示されます。

memo

◎ 更新情報をより速くダウンロードするには、WiMAXや無線LAN機能(Wi-Fi®)を使用してください。

アカウントの編集/削除

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 アカウント」をタップ→アカウントをロングタッチ→「アカウントを開く」/「アカウントの削除」をタップします。

memo

◎ アカウントの種類によっては、アカウント一覧画面でアカウントをタップ→「アカウントを削除」をタップして削除します。

◎ アカウントを削除すると、そのアカウントの連絡先やメッセージは本製品から削除されます。

◎ auアカウントと初めに登録したGoogleアカウントは削除できません。

ブラウザ

インターネットのサイトを閲覧できます。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 ブラウザ」をタップします。

memo

◎ 拡大/縮小するには、ピンチします(▶P.11)。

◎ をタップするとオプションが表示されます。

接続

本製品はモバイルネットワーク(パケット通信)または無線LAN機能(Wi-Fi®)、またはWiMAXを使用して、インターネットに接続できます。

memo

◎ インターネット接続の契約内容によっては、インターネット閲覧やデータのダウンロードを行うと追加料金が発生する場合があります。詳しくは、サービスプロバイダにお問い合わせください。

◎ 接続できない場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

■ モバイルネットワーク(パケット通信)の設定

モバイルネットワーク(パケット通信)は、次の操作でオン/オフを切り替えることができます。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「バッテリーとデータ管理」をタップ→「データの配信」をタップ→「データ有効化」をタップします。

■ 無線LAN機能(Wi-Fi®)の設定

無線LAN機能(Wi-Fi®)の設定は、「無線とネットワークの設定」画面で行います。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップします。

「無線とネットワークの設定」画面で「Wi-Fi」をタップしてオンにしてから、「Wi-Fi設定」をタップすると、近くのワイヤレスネットワークが表示されますので、接続するネットワークをタップしてください。

■ WiMAXの設定

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「WiMAX」をタップしてオンにします。

インターネット動画の再生

本製品のブラウザはAdobe® Flash® Playerに対応しています。Adobe® Flash® Playerによってサイトにアニメーションや動画を追加したり、サイトをインタラクティブ(対話型)にすることができます。

動画の場合は、▶をタップして再生します。再生中に動画をすばやく2回タップすると拡大できます。

ブラウザのオプション

をタップすると、ブラウザのオプションが表示されます。

- **新しいウィンドウ:**新しいブラウザウィンドウを開きます。
- **ブックマーク:**ブックマークの一覧を表示します。
- **ウィンドウ:**開いているウィンドウの一覧を表示します。
- **再読み込み:**現在のページを再読み込みします。
- **進む:** をタップして戻ったときに、元のページを表示します。
- **その他:**その他のブラウザオプションを表示します。

YouTube™

YouTube™の動画を再生できます。動画を再生する際は、YouTubeアカウントは必要ありません。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 YouTube」をタップします。

memo

◎YouTubeアカウントを取得する場合は、 http:/www.youtube.com/ にアクセスして、YouTubeアカウントを作成してください。
◎アカウントを作成またはログインするには、 →「マイチャンネル」をタップしてください。
◎動画を検索したりアップロードするには、 をタップしてください。

位置情報(GPS情報)

Googleマップ™などのアプリケーションを利用し、地図を表示して現在地を確認したり、目的地までの経路を検索したりできます。また、航空写真などの情報を地図に重ねて表示できます。

Googleマップ

Googleマップは、マップ機能と、地域のお店やサービス情報(場所や問い合わせ先、車での行きかたを含む)を提供します。

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 マップ」をタップします。

現在地を地図の中心に表示します。

レイヤを追加して表示します。

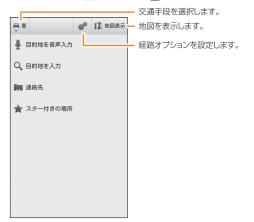
場所を探します(プレイスが起動します)。

memo

◎ヘルプを見るには、[メニュー]→「その他」をタップ→「ヘルプ」をタップします。
◎今いる場所の近くに何があるか知りたいときは、プレイスをお試しください。プレイスを使うと、周辺にあるレストラン、ATM、ガソリンスタンドなどを見つけられます。
起動方法： ホーム画面で [アプリ] をタップ→「プレイス」をタップします。

Googleマップナビ™

インターネット接続によるGPSナビゲーションシステムで、音声案内を利用できます。

起動方法： ホーム画面で [アプリ] をタップ→「ナビ」をタップします。

画面の指示にしたがって、行き先を音声入力したり、ソフトウェアキーボードで入力します。

詳しくは、http://www.google.com/mobile/navigation/ をご覧ください。

Google Latitude™

友だちや家族の居場所をGoogleマップで確認できます。待ち合わせ場所を決めるときや、友だちの現在地までの経路を調べるときにも使うことができます。

Latitudeへの参加

位置情報を共有するには、Google Latitudeに参加して、自分の居場所を友だちが確認できるように友だちを招待するか、友だちからの招待に応じる必要があります。

Googleマップ使用中（ストリートビューを除く）に [メニュー] →「Latitudeに参加」をタップします。

memo

◎友だちからの招待に応じない限り、自分の居場所が知られることはありません。

友だちの追加／削除

起動方法： ホーム画面で [アプリ] をタップ→「Latitude」をタップして友だちリストを表示します。

■友だちを追加するには

1 友だちリストで [友だち追加] をタップする

2 「連絡先から選択」をタップして連絡先を選択する

「メールアドレスから追加」をタップ→メールアドレスを入力→「送信」または「友だちを追加」をタップしても友だちを追加できます。

3 「はい」をタップする

友だちがすでにGoogle Latitudeを利用している場合は、友だちは通知を受け取ります。友だちがGoogle Latitudeに参加していない場合は、参加を招待するメールを受け取ります。

■友だちを削除するには

1 **友だちリストで削除する友だちをタップする**

2 **「この友だちを削除」をタップする**

位置情報を共有する

位置情報を共有するリクエストを受け取ったら位置情報を共有するかどうかを選択します。

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 Latitude」をタップ→「1件の新しい共有リクエスト」をタップして、以下の項目を選択します。

- **受け入れて自分の現在地も教える：** お互いの現在地を確認できるようにします。
- **受け入れるが自分の所在地は教えない：** 自分は友だちの現在地を確認できるが、友だちは自分の現在地を確認できないようにします。
- **承認しない：** お互いに現在地を確認できないようにします。

自分の居場所を隠す

設定方法： ホーム画面で をタップ→「 Latitude」をタップ→自分の連絡先名をタップ→「プライバシー設定を編集」をタップ→「現在地を更新しない」をタップします。

Google Latitudeを終了する

設定方法： ホーム画面で をタップ→「 Latitude」をタップ→ →「設定」をタップ→「Latitudeからログアウト」をタップします。

アプリケーションのインストール

Androidマーケット、au one Marketからアプリケーションをダウンロード／インストールできます。
また、GREEマーケットでau one GREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

ご利用にあたって

ゲーム、コミュニケーション、ビジネス、娯楽などさまざまなアプリケーションが公開されています。ただし、アプリケーションは慎重に選んでください。アプリケーションを選ぶ際のヒントは以下の通りです。

- 本製品またはプライバシーに悪影響を及ぼすスパイウェア、フィッシング、ウイルスから守るために、Androidマーケットのような信頼されているサイトからダウンロードしたアプリケーションを使用してください。
- Androidマーケットでは、インストールする前にアプリケーションの評価とコメントを確認してください。これにより、自分に合った最適なアプリケーションを選ぶことができます。アプリケーションの安全性に疑問がある場合はインストールしないでください。
- 不要なアプリケーションはアンインストールしてください。必要になったときに再インストールできます。
- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーションによって程度の差はありますが、メモリ、データ、電池などを使用します。例えば、簡単な設定変更のためのウィジェットは、音楽のストリーミングプレイヤーのようなアプリケーションよりも少ない消費で済みます。インストールしたアプリケーションのメモリ、データ、電池、処理能力の使用量が多いと感じたら、そのアプリケーションをアンインストールしましょう。必要になったときに再インストールできます。

memo

◎アプリケーションのインストール／ご利用については、「Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて」（▶P.113）もご参照ください。

Androidマーケット

Googleが提供するAndroidマーケットから、便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、本製品にダウンロード／インストールして利用できます。

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「マーケット」をタップします。

説明を確認したりダウンロードしたいアプリケーションをタップします。

memo

◎Androidマーケットのヘルプを見たい場合や質問がある場合は、[⊞]→「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションの検索とインストール

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「マーケット」をタップします。

1 カテゴリを選択して欲しいアプリケーションをタップする

「🔍」をタップしてテキストを入力し、「🔍」をタップしてから欲しいアプリケーションをタップすることもできます。

2 金額（無料アプリケーションの場合は「無料」）をタップする

アプリケーションがどの情報にアクセスするかを示す注意文が表示されます。

3 内容をよく読んで、その情報にアクセスされてもよい場合は「OK」をタップする

インストールが始まります。
その情報にアクセスされたくない場合はインストールしないでください。

アプリケーションの管理／再インストール

使わなくなったアプリケーションはアンインストールしたほうがよいでしょう。

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「マーケット」をタップ→[⊞]→「マイアプリ」をタップします。

- アンインストールするには、マイアプリ一覧で目的のアプリケーションをタップ→「アンインストール」をタップ→「OK」をタップ→画面の指示に従って操作します。
- アプリケーションを再インストールするには、マイアプリ一覧で目的のアプリをタップして、画面の指示に従って操作してください。詳しくは、「アプリケーションの検索とインストール」（▶P.63）をご参照ください。

その他のアプリ管理機能（アプリのデータやキャッシュの消去を含む）は、ホーム画面で[⊞]→「アプリの管理」をタップして、一覧でアプリをタップします。

au one Market

au one Marketからアプリケーションをダウンロード／インストールできます。目的のアプリケーションをカテゴリやキーワードから検索したり、ランキングから探すことができます。

起動方法：ホーム画面で ▣ をタップ→「au one Market」をタップします。

◎一部の機能を利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

接続

Bluetooth®機能

Bluetooth®対応機器を接続して利用したり、Bluetooth®対応の携帯電話やパソコン、タブレットなどと接続してファイルを共有できます。

Bluetooth®機能のオン／オフ

起動方法：ホーム画面で ▣ をタップ→「設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Bluetooth設定」をタップ→「Bluetooth」をタップしてオンにします。

◎電池寿命を延ばすために、使用しないときはBluetooth®機能をオフにしてください。

◎ホーム画面にBluetoothの切り替えウィジェットを追加すると、簡単にオン／オフを切り替えられます。

Bluetooth®対応機器の接続

Bluetooth®対応機器を接続するには、ペア設定を行う必要があります。Bluetooth®対応機器に対して一度ペア設定を行うと、次からは機器の電源を入れるだけで接続できます。

1 ペア設定を行うBluetooth®対応機器を検出可能モードにする

詳しくは、Bluetooth®対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

2 ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Bluetooth設定」をタップする

3 「Bluetooth」をタップしてオンにする

スキャンが始まります。
Bluetooth®機能がすでにオンになっている場合は、「デバイスのスキャン」をタップします。

4 接続したいデバイスをタップする

5 画面の指示に従って操作して、デバイスを接続する

接続する機器によっては、パスキー（例えば0000）を入力する必要があります。

Bluetooth®対応機器の再接続

本製品とペア設定済みの機器は、機器のBluetooth®機能をオンにするだけで自動的に再接続します。
ペア設定済みの機器を手動で再接続するには、本製品のBluetooth端末リストでデバイス名をタップします。

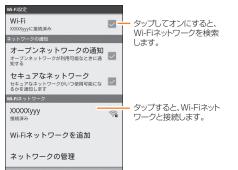
デバイス名を変更する

設定方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Bluetooth設定」をタップ→「端末名」をタップ→名前を入力→「OK」をタップします。

無線LAN機能（Wi-Fi®）

インターネットに高速接続できます。

無線LAN機能（Wi-Fi®）のオン／オフ

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Wi-Fi設定」をタップ→「Wi-Fi」をタップしてオンにします。

◎電池寿命を延ばすために、使用しないときは無線LAN機能（Wi-Fi®）をオフにしてください。

◎ホーム画面にWi-Fiの切り替えウィジェットを追加すると、簡単にオン／オフを切り替えられます。

◎Wi-Fiネットワークを検索するには、「Wi-Fi設定」画面で →「スキャン」をタップしてください。

Wi-Fi®ネットワークの検索／接続

接続可能範囲内にあるWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Wi-Fi設定」をタップする

2 「Wi-Fi」をタップしてオンにする

無線LAN機能（Wi-Fi®）がオンになり、Wi-Fi®ネットワークの検索が始まります。すでに「Wi-Fi」がオンの場合は、 →「スキャン」をタップしてください。
接続可能範囲内にあるWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi®ネットワークをタップする

接続するWi-Fi®ネットワークが表示されないときは、「Wi-Fiネットワークを追加」をタップしてください。

4 必要に応じてネットワークSSID、セキュリティ、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」／「保存」をタップする

接続すると、ステータスバーに （青色）が表示されます。

◎MACアドレスやその他の詳細情報を確認するには、「Wi-Fi設定」画面で →「詳細設定」をタップします。

◎一度接続したWi-Fi®ネットワークの範囲内にいるときに無線LAN機能（Wi-Fi®）をオンにすると、自動的にネットワークに再接続します。

Wi-Fi®テザリング

Wi-Fi®テザリングをオンにすると、本製品をモバイルWi-Fiルーターとして利用できるようになります。

Wi-Fi®テザリングのオン／オフ

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 Wi-Fiテザリング」をタップ→「Wi-Fiテザリング」をタップ→「OK」をタップしてオンにします。

◎ 本製品のWi-Fi®テザリングをオンにすると、他のWi-Fi対応機器から本製品に接続できるようになります。
SSIDやセキュリティの種類、パスワード（セキュリティキー）については、「Wi-Fi®テザリングの設定」（▶P.67）をご参照ください。

Wi-Fi®テザリングの設定

Wi-Fi対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

memo

◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ 本製品では、通信を暗号化したり、特定の機器のみに接続を許可したりすることができます。

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 Wi-Fiテザリング」をタップ→「Wi-Fiテザリングを設定」をタップします。

以下の設定項目をタップして設定します。設定が完了したら「保存」をタップします。

- **ネットワークSSID：**本製品のモバイルWi-Fiルーターとしての名前を入力します。
- **ブロードキャストSSID：**オフにすると、ネットワークSSIDを隠すことができます。
- **セキュリティ：**「なし」「WPA2 PSK」の中から、通信の暗号化方式を選択します。「なし」は、暗号化しない設定です。
  「WPA2 PSK」に設定したときは、パスワードを入力してください。ここで設定したパスワードを、Wi-Fi対応機器で入力した場合のみ、本製品に接続できます。
  「WPA2 PSK」に設定することをおすすめします。
- **ブロードキャストチャンネル：**使用するチャンネルを選択します。いくつかの異なるチャンネルを試して、電波干渉が生じにくいチャンネルを選択してください。

ファイル管理／電話ポータル

ファイルの削除／共有

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「ファイル」をタップ→「内部電話ストレージ」／「SDカード」／「共有フォルダ」をタップします。

ファイルやフォルダをロングタッチして「削除」または「共有」をタップします。

◎ ファイルの種類によっては、ファイルをタップして開くこともできます。

Motorola Media Link

Motorola Media Linkは、パソコンで管理している曲を本製品にコピーしたり、本製品の写真などをパソコンにコピーするソフトウェアで、パソコンにインストールして使用します。詳しくは、http://www.motorola.com/jp/consumer/photon/medialink をご参照ください。

電話ポータル

電話ポータルを利用するには、本製品とパソコンをWi-Fi®ネットワークまたは付属のmicroUSBケーブルを利用して接続してから、電話ポータルのURLをパソコンのブラウザに入力します。

クリックして、ページを切り替えます。

電波状態、電池レベル、メモリ使用状況を確認できます。

最近の通話履歴とCメール受信履歴が表示されます。
すべて:すべて表示
SMS:Cメール受信履歴のみ表示
コール:通話履歴のみ表示

言語を選択します。

memo

◎ 電話ポータルのURLについては、「Wi-Fiネットワークを利用した接続」（▶P.69）または「microUSBケーブルを利用した接続」（▶P.69）をご参照ください。

◎ 電話ポータルは、JavaスクリプトとCookieを有効にしたInternet Explorer 7以降のブラウザで利用することを推奨します。

Wi-Fiネットワークを利用した接続

Wi-Fi®ネットワークを利用して、電話ポータルに接続します。
あらかじめ無線LAN機能（Wi-Fi®）をオンにして、Wi-Fi®ネットワークに接続しておいてください。

memo

◎ Wi-Fiネットワークによっては、端末同士の接続を許可していない場合があります。その場合は、付属のmicroUSBケーブルで接続してください。

1 ホーム画面で をタップ→「 電話ポータル」をタップする

2 「Wi-Fiで接続します」をタップする

本製品がWi-Fi®ネットワークに接続している場合は、電話ポータルのURLが表示されます。

3 本製品の画面に表示された電話ポータルのURLを、同じネットワーク上にあるパソコンのブラウザに入力する

パソコンのブラウザに電話ポータルのトップページが表示されます。

memo

◎ ユーザ名とパスワードが無効の旨のメッセージが表示されたときは、「Ok」または「スキップ」をタップしてください。
「Ok」をタップすると、ユーザ名とパスワードを設定する画面が表示されます。画面の表示に従ってユーザ名とパスワードを設定してください。

microUSBケーブルを利用した接続

1 本製品とパソコンの電源を入れ、付属のmicroUSBケーブルで本製品とパソコンを接続する

2 ステータスバーを下にスライドして、「モトローラ電話ポータル」をタップする

電話ポータルのURLが表示されます。

3 本製品の画面に表示された電話ポータルのURLを、同じネットワーク上にあるパソコンのブラウザに入力する

パソコンのブラウザに電話ポータルのトップページが表示されます。

memo

◎「モトローラ電話ポータル」が表示されない場合は、画面上部のステータスバーを下にスライド→「USB接続」をタップ→「モトローラ電話ポータル」をタップ→「OK」をタップ→少し待ってから、操作 2 以降を行ってください。
◎ 電話ポータルを使わず、本製品の内部ストレージや本製品に取り付けたmicroSDメモリカードの内容をパソコンから操作したい場合は、画面上部のステータスバーを下にスライド→「USB接続」をタップ→「USBマスストレージ」をタップします。

ツール

アラーム

起動方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「アラームとタイマー」をタップします。

アラームの有効／無効を切り替えるには、チェックボックスをタップします。
アラームを追加するには、[メニュー]→「アラームの設定」をタップ→アラームの詳細を設定→「完了」をタップします。
アラームを追加すると、ステータスバーにが表示されます。

memo

◎アラームが鳴ったら「消去」を右にドラッグしてアラームをオフにするか、画面をタップして5分間のスヌーズを設定します。
◎アラームを設定した時刻に本体の電源が切れている場合は、アラームが鳴りません。
◎バイブ（▶P.18）をオフに設定していても、アラーム設定時のバイブレーション設定をオンにしていると、アラーム時刻にバイブが動作します。

電卓

起動方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「電卓」をタップします。
電卓には標準機能画面と関数機能画面があります。画面を切り替えるには、[メニュー]→「関数機能」／「標準機能」をタップします。
履歴を消去するには、[メニュー]→「履歴消去」をタップします。

カレンダー

起動方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「カレンダー」をタップします。

をタップすると、カレンダーの予定を予定リスト（アジェンダ）、日、週、月単位で表示できます。
予定をタップすると、詳細が表示されます。

memo

◎ホーム画面にカレンダーウィジェットを追加すると、ホーム画面で予定を確認できます。

予定の追加

をタップ→予定のタイトル、日時やその他項目を入力→「保存」をタップします。
予定を忘れないように「通知」を設定することもできます。

予定の管理

予定を編集するには、編集したい予定をロングタッチして、「予定を編集」をタップ→予定を編集→「保存」をタップします。
予定を削除するには、削除したい予定をロングタッチして、「予定を削除」をタップします。
今日の予定にジャンプするには、→「今日を表示する」をタップします。

タスク

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 タスク」をタップします。
タスクを追加するには、をタップ→タスクのタイトルとその他の項目を入力→「保存」をタップします。
タスクを締切日や優先順位ごとに表示するには、該当のアイコンをタップします。

Quickoffice

Microsoft® Word文書、Excelスプレッドシート、および PowerPointプレゼンテーションのアクセス、作成、編集、共有ができます。
起動方法: ホーム画面で をタップ→「 Quickoffice」をタップします。

新しいドキュメントの作成

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 Quickoffice」をタップ→作成したいファイルの種類を示すアイコンをタップ→「新しいドキュメントの作成」をタップします。

memo

◎ QuickPDFは、新しいドキュメントの作成はできません。

ドキュメントの編集／閲覧

起動方法: ホーム画面で をタップ→「 Quickoffice」をタップ→「参照」をタップ→「SDカード」、「内部ストレージ」、「最近使用したドキュメント」のいずれかをタップ→目的のファイルをタップします。

memo

◎「参照」の代わりに、編集／閲覧したいファイルの種類を示すアイコンをタップしても、編集／閲覧できます。
◎ ドキュメントの編集中に、入力した文字（テキスト）をタップすると、カーソルを移動できます。
◎ ドキュメントの編集中に、入力した文字（テキスト）をすばやく2回タップすると、入力した文字（テキスト）を選択できます。
◎ 書式設定やファイル保存などのオプションを選択するには、をタップします。
◎ フォルダの管理やファイルの転送については、「ファイルの削除／共有」（▶P.68）を参照してください。

端末管理／セキュリティ

ワイヤレス通信

起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙ 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップします。

「無線とネットワークの設定」画面が表示されます。

本製品の無線通信機能（WiMAX接続や無線LAN機能（Wi-Fi®）、Bluetooth®機能、機内モード、モバイルネットワーク）を管理できます。

WiMAX接続

起動方法：「無線とネットワークの設定」画面で「WiMAX」をタップしてオンにします。

WiMAXネットワークを検索したり、本製品のIPアドレスやMACアドレスを確認するには、「無線とネットワークの設定」画面で「WiMAX設定」をタップします。

機内モード

機内モードをオンにすると、本製品のすべての無線通信をオフにできます。ただし、機内モードをオンに設定していても、航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。

起動方法：「無線とネットワークの設定」画面で「機内モード」をタップしてオンにします。

◎ ⓘ を長押し→「航空機内モード」をタップしても、機内モードのオン／オフを切り替えることができます。

◎ 機内モードがオンになっていても、自分の地域の緊急通報番号へは発信できます。

◎ ホーム画面に機内モードの切り替えウィジェットを追加すると、簡単にオン／オフを切り替えられます。

端末アップデート

ソフトウェア更新の確認、ダウンロード、インストールができます。

- **本製品のみで更新する：**
  ソフトウェア更新のお知らせを受信したときは、画面の指示に従ってソフトウェアを更新してください。
  お知らせを受信していないときにソフトウェア更新を確認して、ソフトウェアを更新することもできます。
  起動方法： ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙ 設定」をタップ→「端末情報」をタップ→「システムアップデート」をタップ→「ファームウェアのアップデート」をタップします。

memo

◎ ソフトウェア更新については、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認ください。

◎ ソフトウェア更新用データのデータサイズは25MB以上になる場合があります。WiMAX接続や無線LAN機能（Wi-Fi®）を使用してダウンロードすることをおすすめします。

画面ロック

他人の無断使用を防ぐために、スリープモードになったときに画面をロックするように設定できます。

設定方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙設定」をタップ→「現在地情報とセキュリティ」をタップ→「画面ロックの設定」または「画面ロックの変更」をタップします。

「スクリーンロックの選択」画面が表示されます。

- **パターン:** パターンを描いて画面ロックを解除します。
- **PIN:** 数字のPINを入力して画面ロックを解除します。
- **パスワード:** パスワードを入力して画面ロックを解除します。

◎画面ロック中でも緊急通報を発信できます。

パターンによるロック

設定方法: 「スクリーンロックの選択」画面で「パターン」をタップ→画面の指示に従ってロックパターンを描く→「次へ」をタップし、確認のためにもう一度描く→「確認」をタップします。

ロックの解除を要求されたときは、設定したパターンを描いて画面ロックを解除します。

数字のPINによるロック

設定方法: 「スクリーンロックの選択」画面で「PIN」をタップ→数字のPINを入力→「↵」をタップし、確認のためにもう一度入力→「↵」をタップします。

ロックの解除を要求されたときは、設定した数字のPINを入力→「↵」をタップして画面ロックを解除します。

パスワードによるロック

設定方法: 「スクリーンロックの選択」画面で「パスワード」をタップ→パスワードを入力→「↵」をタップし、確認のためにもう一度入力→「↵」をタップします。

ロックの解除を要求されたときは、設定したパスワードを入力→「↵」をタップして画面ロックを解除します。

ロック画面のカスタマイズ

スリープモードが起動してから、画面ロックを設定するまでの時間を指定できます。指定した時間の間、画面やキーをタップしなかったりボタンを押さなかった場合、画面は自動的にロックします。

設定方法: ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙設定」をタップ→「現在地情報とセキュリティ」をタップ→「画面ロックタイマー設定」をタップ→時間をタップします。

ロック／ロック解除

画面／本体をロックするには

- ⓞを押します。
- しばらく何も押さないで待ちます(スリープモードが起動して画面ロックが設定されます)。

画面／本体のロックを解除するには

ⓞを押してロック画面を表示→🔓を右にドラッグします。
パターン、PIN、パスワードを設定している場合は、画面の指示に従って操作してください。

パターン、PIN、パスワードを忘れてしまったときは？

パターン、PIN、パスワードを忘れてしまった場合は、お客さまセンターへお問い合わせください。

リセット

本製品をお買い上げ時の設定にリセットし、本体のすべてのデータを消去することができます。

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「プライバシー」をタップ→「データの初期化」をタップ→画面の指示に従って操作します。

auのネットワークサービス

サービス一覧

標準サービス

サービス名	説明
お留守番サービス	電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです(▶P.75)。
着信転送サービス	電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです(▶P.76)。
割込通話サービス	通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。 **サービス開始：**ホーム画面で「 電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「5」「1」の順にタップ→「 」をタップします。 **サービス停止：**ホーム画面で「 電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「5」「0」の順にタップ→「 」をタップします。
発信番号表示サービス	電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されるサービスです(▶P.77)。
番号通知リクエストサービス	電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです(▶P.78)。

memo

◎ 標準サービスでも操作によっては、ご利用料金がかかります。詳しくは、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認ください。

有料オプションサービス

サービス名	説明
三者通話サービス	通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できるサービスです。
迷惑電話撃退サービス	迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。
通話明細分計サービス	分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。

memo

◎ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービス(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モードをオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.76)は同時に開始できません。お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.78)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

お留守番サービスの利用

お留守番サービスの各サービスを紹介します。電話をかけたあとは、ガイダンスに従って操作してください。

サービス名	説明
お留守番サービス総合案内	ガイダンスに従って操作することで、伝言の再生や、応答メッセージの設定などができます。 **起動方法:** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「1」の順にタップ→「 」をタップします。

サービス名	説明
留守番伝言再生	録音された伝言を聞くことができます。 **起動方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「1」「7」の順にタップ→「」をタップします。
留守番開始1	お留守番サービスを開始します。 通話中にかかってきた電話も、お留守番サービスセンターに転送します。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「1」「1」の順にタップ→「」をタップします。
留守番開始2	お留守番サービスを開始します。 通話中にかかってきた電話は、お留守番サービスセンターに転送しません。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「1」「3」の順にタップ→「」をタップします。
留守番停止	お留守番サービスを停止します。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「1」「0」の順にタップ→「」をタップします。
応答内容変更	現在設定されている応答メッセージの内容を録音／変更したり、確認することなどができます。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「1」「4」の順にタップ→「」をタップします。

memo

◎「お留守番サービス総合案内」以外は、以下の操作で利用することもできます。
起動方法： ホーム画面で をタップ→「設定」をタップ→「通話設定」をタップ→「ネットワークサービス」をタップ→「留守番電話」をタップ→サービスをタップ→「OK」をタップします。

着信転送サービス（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを以下のような転送設定を選択できます。

サービス名	説明
無応答転送	電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。 着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「2」「2」の順にタップ→転送先電話番号を入力→「」をタップします。
話中転送	通話中にかかってきた電話を転送します。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「2」「3」の順にタップ→転送先電話番号を入力→「」をタップします。
フル転送	かかってきたすべての電話を転送します。 本製品は呼び出されません。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「2」「4」の順にタップ→転送先電話番号を入力→「」をタップします。
転送停止	着信転送サービスを停止します。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「2」「0」の順にタップ→「」をタップします。

memo

◎緊急通報電話（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.75）は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.78）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。
◎着信転送サービスの各サービスは、以下の操作で利用することもできます。
起動方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「通話設定」をタップ→「ネットワークサービス」をタップ→「転送電話」をタップ→サービスをタップ→「OK」をタップします。

発信番号表示サービス（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号（本製品の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、本製品のディスプレイに表示されます。

memo

◎相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、電話番号が表示されません。

番号通知リクエストサービス（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

サービス名	説明
番号通知リクエストサービスの開始	電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。 **設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「8」「1」の順にタップ→「　」をタップします。
番号通知リクエストサービスの停止	**設定方法：** ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップ→「1」「4」「8」「0」の順にタップ→「　」をタップします。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス（▶P.75）、着信転送サービス（▶P.76）、割込通話サービス（▶P.74）、三者通話サービス（▶P.75）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.75）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

海外利用

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてCDMAネットワークをご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のCDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

1. **国内では、auのネットワークでご利用になれます**
2. **本製品の「ローミングモード」(▶P.81)を「すべてのCDMA」に変更します**
3. **世界のCDMAネットワークでいつもの番号で話せます**
4. **帰国したら、本製品の「ローミングモード」(▶P.81)を「KDDIのみ」へ戻します**

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.80)、「エリアを設定する」(▶P.81)に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■本製品を盗難・紛失したら

- 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。本製品を盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、発信アイコンをタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

本製品は、「グローバルパスポートCDMA」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。
インターネット	海外でもインターネット接続が可能です。
Cメール	海外では受信のみ可能です。
Eメール／Gmail	海外でもご利用になれます。
GPSの現在地確認※	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳しくは「サービスエリアと海外での通話料」（▶P.83）および「パケットサービスの通信料」（▶P.84）をご参照ください。

memo

◎Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。「PRL更新」は渡航前に行っておいてください。

起動方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「モバイルネットワーク」をタップ→「PRL更新」をタップします。

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。

memo

◎渡航前には、必ず日本国内で最新のPRLを設定してください。

現在地時刻を設定する

設定方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「日付と時刻」をタップ→「自動」をタップしてオンにします。

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎CDMAローミング中は、手動での設定を行うことはできません。

エリアを設定する

本製品を使用するエリアを設定します。

1 ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「モバイルネットワーク」をタップ→「ローミングモード」をタップする

2

KDDIのみ	日本国内でご利用になる場合
すべてのCDMA	海外でCDMAネットワークをご利用になる場合
すべてのGSM／UMTS	本製品ではご利用になれません。
自動	本製品ではご利用になれません。

◎ご利用のネットワークによっては、ネットワークローミングやネットワーク選択、事業者選択、アクセスポイント名など、追加のオプションが表示される場合があります。

現在接続しているネットワークの種類を確認

確認方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「端末情報」をタップ→「端末の状態」をタップ→「モバイルネットワークの種類」でネットワークの種類を確認します。

データローミングを有効にする

本製品のお買い上げ時は、データローミングはオフに設定されています。海外ローミング中にデータサービスに接続するには、以下の操作でデータローミングをオンにします。

設定方法： ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「モバイルネットワーク」をタップ→「国際データ」をタップ→「OK」をタップしてオンにします。

◎この機能をオンにすると、非常に高額のパケット通信料金がかかる場合があります。

ディスプレイの表示について

ステータスバーにはご利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	説明
	CDMAローミング中

渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面で「 電話」をタップ→「電話」をタップする

2 ＋（「0」をロングタッチ）→国番号・地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

3 「 」をタップする

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

韓国の国際アクセス番号※1		国番号（アメリカ）		市外局番※2		相手の電話番号
002	➡	1	➡	212	➡	123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

memo

◎本製品を海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。「ローミングモード」を「すべてのCDMA」に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ使用できます。詳細については「エリアを設定する」（▶P.81）をご参照ください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」をタップ→「電話」をタップする

2 地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

3 「 」をタップする

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。
電話を受けるには、着信中の画面で「電話に出る」をタップするか、を右へドラッグします。
着信を拒否するには、着信中の画面で「着信拒否」をタップするか、を左へドラッグします。

■ 渡航先に電話がかかってきた場合

いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→発信

国際アクセス番号（アメリカ）		日本の国番号		au電話の電話番号（最初の0は省略する）
011	➡	81	➡	901234XXXX

海外利用

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間

■一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
北米・中南米	アメリカ（本土）	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	バミューダ諸島	1-800-623-2011
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間：24時間（通話料無料）

◎ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。

■一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間（国際通話料がかかります）

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から フリーコール **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間：9:00～20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア・中東	韓国	○	○	50	125	265	70
	中国	○	○	70	175	265	145
	香港	○	○	70	175	265	145
	マカオ	○	―	70	175	265	145
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	バングラデシュ	○	―	70	180	280	180
	インド	○	○	70	180	280	180
	イスラエル	○	○	70	260	280	140

	国·地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
北米·中南米	アメリカ（本土）	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	バミューダ諸島	○	ー	120	140	210	165
	バハマ	○	ー	120	140	210	165
	ベネズエラ	○	ー	130	330	330	140
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	ニュージーランド	○	ー	80	180	280	80

memo

◎各種割引サービス·パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール·フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国·地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
◎国·地域によっては、通話アイコンをタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2011年9月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」（▶P.80）をご参照ください。

■ パケットサービスの通信料（免税）

パケット通信料	Cメール受信料
0.2円／パケット	無料

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます（1パケット=128バイト）。
◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス·パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号&国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国·地域名	番号
アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、バミューダ諸島、バハマ	011
ニュージーランド、中国、マカオ、ベトナム、メキシコ、イスラエル、インド、バングラデシュ、ベネズエラ	00
韓国	00700（002）
台湾	005
香港、タイ、インドネシア	001

■ 国番号（カントリーコード）

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド（IRL）	353	デンマーク（DNK）	45
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イスラエル（ISR）	972	ノルウェー（NOR）	47
イタリア（ITA）	39	バミューダ諸島（BMU）	1
インド（IND）	91	ハンガリー（HUN）	36
インドネシア（IDN）	62	バングラデシュ（BGD）	880
オーストリア（AUT）	43	フィリピン（PHL）	63
オランダ（NLD）	31	フィンランド（FIN）	358
カナダ（CAN）	1	フランス（FRA）	33
韓国（KOR）	82	ベトナム（VIE）	84
ギリシャ（GRC）	30	ベルギー（BEL）	32
シンガポール（SGP）	65	ポルトガル（PRT）	351
スイス（CHE）	41	香港（HKG）	852
スウェーデン（SWE）	46	マカオ（MAC）	853
スペイン（ESP）	34	マレーシア（MYS）	60
タイ（THA）	66	メキシコ（MEX）	52
台湾（TWN）	886	ルクセンブルグ（LUX）	352
中国（CHN）	86	ロシア（RUS）	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信アイコン」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、CDMAローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはCメール受信)のみご利用になれます。
- Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- Cメールを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりCメールを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのCメールを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたCメールはCメールセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ/オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録

周辺機器のご紹介

■電池パック（MOI11UAA）

■microUSBケーブル（MOI11HUA）

■ACアダプター（MOI11PQA）

■auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前にお読みください。

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	• 電池切れになっていませんか？充電は完了していますか？ • microUSB端子は汚れていませんか？ microUSB端子が汚れている場合は、乾いた綿棒などで清掃してください。 • [電源キー]を長押ししていますか？	P.8 P.9 P.107
充電ができない（通知ランプが点灯しない）	• ACアダプターの電源プラグをコンセントに正しく差し込んでいますか？ • 付属のmicroUSBケーブルをACアダプターと本体に正しく接続していますか？ • 電源が入っていると通知ランプが消灯していても充電されています。画面上部のアイコンを確認してください。	P.8 P.13
画面照明が暗い	• 画面の明るさが暗く設定されていませんか？ **設定方法:**ホーム画面で [メニュー] をタップ→「設定」をタップ→「表示」をタップ→「画面の明るさ」をタップ→画面の明るさを調整します。 ※「明るさを自動調整」がオンになっているときは、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動調整されます。オフにすると任意の明るさに設定できます。	P.18

症状	チェックする箇所	参照先
ディスプレイの照明がすぐ消える	• 照明が消えるまでの時間が短く設定されていませんか？ **設定方法:**ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「表示」をタップ→「画面消灯」をタップ→照明が消えるまでの時間を選択します。 ※時間を短くすることで電池消費量を抑えることができます。	P.10
タッチパネルが動作しない／タッチパネルで意図したとおりに操作できない(キー／タッチパネルの操作ができない)	• 手袋をしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作していませんか？ • ディスプレイに保護シートを貼っていませんか？ 保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。 • 本製品のディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。タッチペンなどでは操作できません。 • ディスプレイに水滴があったり、濡れた手や爪で操作していませんか？ • 画面ロックが設定されていませんか？ ※パターン、PIN、パスワードを入力して、画面ロックを解除してください。	P.10 P.73
画面が正常に表示されない／画面が動かない／どのキーを押しても操作できない	• 動作が不安定になったり、操作できなくなったりした場合は、電源を入れ直すか、電池パックを取り付け直してください。 ※電源を入れ直したり、電池パックを取り付け直しても、保存されているデータやアプリケーションは削除されません。	P.6 P.9

症状	チェックする箇所	参照先
文字入力時に、ケータイ配列のテンキー表示に切り替えられない(QWERTY配列のフルキー表示以外の入力方法を利用したい)	• ソフトウェアキーボードは、QWERTY配列のフルキー表示と、ケータイ配列のテンキー表示を切り替えられます。 • テンキー表示時の入力方法は、フリック入力とトグル入力(ケータイと同様の入力方法)の有効／無効を設定できます。 **設定方法:**ホーム画面で をタップ→「 設定」をタップ→「言語とキーボード」をタップ→「iWnn IME」をタップ→「フリック入力」と「トグル入力」をオンまたはオフにします。 ※「フリック入力」をオフにすると、テンキー表示時にトグル入力が利用できます。 ※「フリック入力」と「トグル入力」をオンにすると、テンキー表示時にフリック入力とトグル入力が利用できます。 ※「フリック入力」をオンにして「トグル入力」をオフにすると、テンキー表示時にフリック入力のみが利用できます。	P.16

付録

症状	チェックする箇所	参照先
電池の消耗が激しい／電池の持ちが悪い(本製品を利用できる時間が短い)	• 「GPS機能を使用」をオンにしていませんか？ **設定方法:**ホーム画面で ◙ をタップ→「 設定」をタップ→「現在地情報とセキュリティ」をタップ→「GPS機能を使用」をタップしてオフにします。 • 充分に充電されていますか？ ※電池アイコンは ▬ (満充電)になっていますか？ • 使用しないアプリケーションを終了していますか？ • Eメール、連絡先、カレンダーの同期を頻繁に行うと電池の消耗が早くなります。 ※PCメールの同期頻度(受信トレイの確認頻度)は変更できます。 **設定方法:**ホーム画面で ◙ をタップ→「 PCメール」をタップ→ ⊞ →「メール設定」をタップ→「メール配信」をタップ→「フェッチスケジュール」をタップ→確認頻度を選択します。 ※Gmail、連絡先、カレンダーの同期頻度は変更できません。「自動同期」をオフにすると電池の消耗を抑える効果があります。 • 付属のACアダプターを使用していますか？ 市販の電池式充電器や付属以外のACアダプターを使用した場合には、充電できなかったり、充電できたように見えても十分に充電できていないために、電池の持ちが悪くなる場合があります。故障の原因ともなりますのでおやめください。	P.8 P.17
電話がつながらない	• 市外局番から入力していますか？ • 機内モードがオンになっていませんか？	P.19 P.72
着信音が鳴らない	• 着信音量を「0」にしていませんか？ • マナーモードを設定していませんか？ • 着信転送サービスのフル転送を設定していませんか？	P.12 P.18 P.76
通話ができない(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	• 電源を入れ直すか、電池パックを取り付け直してください。 • 電波の性質により、電波が強い状態( )でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	P.6 P.9 P.21
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 受話音量を変更していませんか？	P.12
アラームが鳴らない	• アラームを設定した時刻に本体の電源が切れている場合は、アラームが鳴りません。	P.70

症状	チェックする箇所	参照先
音量を変更できない／音が聞こえない	• 本体右側面の音量キーを押して変更してください。 • アプリケーションによっては、画面上のタッチ操作で音量を変更できます。 • イヤホンを挿入したときは、イヤホンが正しく挿入されているかご確認ください。	P.12
画面ロックの解除パターンを忘れてしまい、画面ロックを解除できない	• 解除パターンを5回連続で間違えた場合、30秒間は解除パターンを入力できません。30秒間待ってからやり直してください。「パターンを忘れた場合」が表示された場合は、タップして画面の指示に従って操作すると画面ロックを解除できます。 それでも解除できないときは、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。保証の対象外となり有償修理となります。	P.74
無線LAN機能（Wi-Fi®）が利用できない／Wi-Fi®ネットワーク（ワイヤレスアクセスポイント）に接続できない	• 無線LAN機能（Wi-Fi®）の電波は十分に届いていますか？ • 無線LAN機能（Wi-Fi®）の設定はしましたか？ **Wi-Fi®をご利用いただくにあたり、以下の内容をご確認ください。** • ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。 • 公衆無線LANサービスを利用する場合は、サービス提供者のホームページなどをご確認ください。 • 接続可能な無線LAN親機の規格は「IEEE802.11b」または「g」、「n」です。 ※「IEEE802.11a」には対応していません。	P.66
公衆無線LANサービスが利用できない	• 公衆無線LANサービスによっては利用できない場合があります。詳しくは、サービス提供者のホームページなどをご確認ください。 • 接続可能なWi-Fi®ネットワーク（ワイヤレスアクセスポイント）の電波は十分に届いていますか？ **設定方法：**ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙ 設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「Wi-Fi設定」をタップ→「オープンネットワークの通知」をタップしてオンにすると、接続可能なWi-Fi®ネットワーク（ワイヤレスアクセスポイント）と電波状態が確認できます。	–
音楽ファイルを再生できない	• 本製品は以下のファイルを再生できます。 AMR-NB、AMR-WB、AAC（MPEG4 AAC-LC）、AAC+、Enhanced AAC+、MP3、8-bit Linear PCM、16-bit Linear PCM、8-bit A-Law PCM、8-bit mu-law PCM、WMA 10 Pro LBR（M2）	P.54
保存した写真や動画、音楽が見つからない	• 対応するアプリケーションを起動してください。	P.53 P.54
本体が温かくなる	• 充電中、アプリケーション動作中、ブラウザ接続中、メール中、カメラ使用中、動画・音楽再生中などは待受中より本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。 なお、過剰に発熱している場合は故障の可能性がありますので使用を中止し、auショップなどでお預かりによる修理をお申し付けください。	–

■良くあるご質問

質問	回答	参照先
バイブレータを利用できますか	• はい。利用できます。 **設定方法:**ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙設定」をタップ→「音」をタップ→「バイブ」/「バイブレーションパターン」をタップ→設定を変更します。	P.18
ケータイアップデートは利用できますか	• いいえ。ケータイアップデートは利用できません。 ソフトウェア更新を行ってください。	P.72
フィルタリング機能は利用できますか	• はい。利用できます。 **設定方法:**ホーム画面で ▣ をタップ→「⚙設定」をタップ→「無線とネットワーク」をタップ→「フィルタリング設定」をタップします。	—
認証型のアクセスポイントを利用できますか	• はい。利用できます。 あらかじめ設定を行うことで、接続するたびにIDとパスワードを入れる必要はありません。	—
パソコンと接続してモデムとして利用できますか(USBテザリング機能)	• はい。利用できます。 次のリンクから、Windows用のUSBドライバをダウンロードしてご利用ください。 **http://www.motorola.com/Support/JP-JA/Consumer-Support/Mobile-Phones/Photon_4G-JP-JA**	—
Google checkoutのIDはパソコンで取得したIDと共用できますか	• はい。共用できます。	—
パソコンと同期できるデータを教えてください	• インターネット上のサーバを経由して、Gmail、カレンダー、連絡先のデータを同期できます。 • Windows Media Playerを使用して音楽データを同期できます。	P.17 P.22 P.54
どのような時にUSBドライバが必要ですか	• 充電時とUSBマストレージをご利用の場合は、USBドライバは必要ありません。USBテザリングご利用時は、次のリンクからWindows用のUSBドライバをダウンロードしてご利用ください。 **http://www.motorola.com/Support/JP-JA/Consumer-Support/Mobile-Phones/Photon_4G-JP-JA**	—

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。

一般電話からは　フリーコール 0077−7−111(通話料無料)

au電話からは　局番なしの157(通話料無料)

付録

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのMOTOROLA PHOTON™ ISW11M本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後3年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています(月額315円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　フリーコール 0077−7−113(通話料無料)
au電話からは　局番なしの113(通話料無料)

■auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 （無料）	お客様負担額 5,250円（税込）
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円（税込）	お客様負担額 10,500円（税込）
④ 紛失時あんしんサービス	新しいau電話購入代金最大18,900円（税込）OFF	新しいau電話購入代金最大6,300円（税込）OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

●本体　＊記載の数値はMotorola Mobility, Inc.の測定値です。

項目		内容
品名		MOTOROLA PHOTON™ ISW11M
型番		MOI11
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約67mm×127mm×12.2mm（最厚部13.0mm）
質量		約158g
CPU		Dual-core NVIDIA® Tegra™ 2 processor 1GHz
ストレージ		約16GB
ネットワーク環境		無線LAN（IEEE802.11b/g/n準拠） WiMAX
操作環境		周囲温度5℃～35℃ 周囲湿度35%～85%
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	4.3インチ
	発色数	約1600万色
	解像度	横540ドット×縦960ドット
連続待受時間[※1]	国内	約210時間（Wi-Fi off時） 約190時間（Wi-Fi on時）
	海外	約160時間：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土 約210時間：ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港 約250時間：ニュージーランド／タイ／マカオ／バミューダ諸島／ベネズエラ ※対象国は2011年8月時点
連続通話時間[※1]	国内	約530分
	海外	約610分：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港／ニュージーランド／タイ／マカオ／バミューダ諸島／ベネズエラ ※対象国は2011年8月時点
充電時間		AC時 約140分（専用ACアダプター）
インタフェース		microUSB端子（Bタイプ）、HDMIマイクロ端子、microSDメモリカードスロット、3.5Φステレオイヤホン端子
Bluetooth®機能		Bluetooth®標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠[※2※3]

※1 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。また、利用する機能によっては、待受時間や使用時間は短くなります。

※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※3 対応プロファイル（Bluetooth®通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したもの）は次の通りです。

HSP（Headset Profile）
HFP（Hands-Free Profile）
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）
OPP（Object Push Profile）
SPP（Serial Port Profile）
PBAP（Phone Book Access Profile）
DUN（Dial-up Networking Profile）
HID（Human Interface Device Profile）
PAN（Personal Area Networking Profile）
GAP（Generic Access Profile）
GAVDP（General Audio/Video Distribution Profile）
GOEP（Generic Object Exchange Profile）

●カメラ

撮影素子		CMOS
有効画素数		800万画素
写真の解像度	ワイドスクリーン	解像度3264×1836
	大（8MP）	解像度3264×2448
	中（5MP）	解像度2592×1944
	小（3MP）	解像度2048×1536
	極小（1MP）	解像度1280×960
ビデオの解像度	高解像度（720p）	HD品質のビデオ 解像度1280×720、 プログレッシブ
	D1（720×480）	DVD品質ビデオ 解像度720×480
	VGA（640×480）	VGAディスプレイ品質のビデオ 解像度640×480
	CIF（352×288）	CIFビデオ 解像度352×288
	QVGA（320×240）	QVGAディスプレイ品質のビデオ 解像度320×240

アプリケーション一覧

アプリケーション	概要
ニュースEX※	ニュースEXでは、最新のニュース・天気・占いなどの情報を確認することができます。
au one	au one ポータルサイトに接続します。
au one Market	auがおすすめするAndroidアプリをインストールできます（▶P.64）。
au one-ID 設定	au one IDの設定を行います。
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fiを利用できます。
DLNA	ホームネットワーク（家庭内LAN）等のネットワークを介して、DLNA対応機器の動画・静止画・音楽などのコンテンツを共有、再生することができます。
Eメール	auケータイのEメールの送受信ができます（▶P.28）。
FMラジオ	本製品にイヤホンを接続してFMラジオが聴けます（▶P.57）。
Gmail	Gmailの送受信ができます（▶P.27）。
GREEマーケット	au one GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。
jibeアドレス帳	Twitterやmixiなど複数のソーシャルネットワーキングサービスのメッセージをまとめて参照したり、コメントや画像を投稿できます。
Latitude	友だちや家族の居場所をGoogleマップで確認できます（▶P.61）。
PCメール	PCメールの送受信ができます。
Quickoffice	Microsoft® Word 文書、Excelスプレッドシート、および PowerPointプレゼンテーションのアクセス、作成、編集、共有ができます（▶P.71）。
SIMカードの管理	本製品ではご利用になれません。

アプリケーション	概要
Skype	音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)ができます。
Webtop コネクタ	「HD Station(メーカオプション(別売))」や「Lapdock(メーカオプション(別売))」を使ってインターネットにアクセスした際のブラウザ閲覧情報を参照できます。
Wi-Fiテザリング	本製品をモバイルWi-Fiルーターとして使用できます(▶P.67)。
YouTube	YouTubeの動画を再生/アップロードできます(▶P.60)。
アカウント	FacebookやTwitterなどのアカウントを本製品に設定できます(▶P.58)。
アラームとタイマー	アラームとタイマーを設定します(▶P.70)。
カムコーダ	動画を撮影できます(▶P.52)。
カメラ	静止画を撮影できます(▶P.50)。
カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます(▶P.70)。
ギャラリー	本製品に保存した静止画や動画を閲覧できます(▶P.53)。
ソーシャルネットワーキング	ソーシャルネットワーキングサイトのアカウントを追加して、ソーシャルネットワーキングサービスを利用できます。
ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。
タスク	作業や課題を登録管理できます(▶P.71)。
タスクマネージャ	実行中のアプリ一覧を表示したり、一括終了することができます。
テキストメッセージング	Cメールの受信ができます。
トーク	Googleトークでチャットができます(▶P.27)。
ナビ	目的地までの音声案内などができます(▶P.61)。
ニュース	RSSやウェブページのニュースフィードを登録して購読することができます。
ニュースと天気	トップニュースや天気予報を閲覧できます。
ファイル	ファイルやフォルダの参照・管理ができます(▶P.68)。
ブラウザ	Webページの閲覧ができます(▶P.58)。
プレイス	現在地の近くにあるレストランやカフェ、観光地などを簡単に探すことができます(▶P.61)。
ヘルプセンター	ビデオや画像を用いて主な使い方の説明をしています。取扱説明書をダウンロードして確認することもできます。
ボイスコマンド	音声で指示して電話をかけたりアプリを起動することができます。
マーケット	Androidマーケットを利用できます(▶P.63)。
マップ	現在地や目的地の地図を表示したり、目的地の検索ができます(▶P.60)。
メッセージ作成	テキストメッセージ(Cメール)、PCメール、ソーシャルメッセージなどをまとめて管理します(▶P.23)。
音楽	microSDメモリーカード内の音楽を再生できます(▶P.55)。
音声検索	音声でWebページの検索ができます。
検索	検索ワードを入力して、本製品内の連絡先やアプリケーションを検索したり、Webページの検索ができます。
災害用伝言板	大規模災害発生時に、自己の安否情報を登録することができます。
設定	設定メニューを表示します。
電卓	電卓を利用できます(▶P.70)。
電話	電話をかけることができます(▶P.19)。
電話ポータル	パソコンから連絡先や写真などの電話コンテンツを管理することができます。

アプリケーション	概要
連絡先	電話番号やメールアドレスを登録して利用できます(▶P.21)。

※簡単にダウンロードできるショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。

もっと知りたいときは

本製品の使いかたや周辺機器についてもっと知りたいときは、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認ください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種MOTOROLA PHOTON™ ISW11Mの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.696W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm）

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（2011年3月現在）

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

著作権、商標

- モトローラ、MOTOROLA、MOTOROLA PHOTON、モトローラのロゴマークは、Motorola Trademark Holdings, LLC.の登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Google Maps、Google Talk、Gmail、YouTube、Android、Android マーケットは、Google Inc.の商標です。
- 「Twitter」はTwitter,Inc.の登録商標です。
- 「Facebook」はFacebook,Inc.の登録商標です。
- microSD、microSDHCは、SDアソシエーションの商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。iWnnはオムロン株式会社の登録商標です。
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2011 all rights reserved.

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、Motorola Mobility, Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。

- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

- NVIDIA、NVIDIAロゴ、Tegra、Tegraロゴは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe®、Adobe Acrobat®、Adobe® Reader®、Flash®は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media Playerは、米国 Microsoft Corporationおよび / またはその関連会社の商標です。
- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

- Mozilla、Firefox とそれぞれのロゴは、米国 Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

© 2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.
Product ID: MOTOROLA PHOTON™ ISW11M

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害（※2）を負うことが想定される内容や物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■本体、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

本製品専用周辺機器

・ACアダプター（MOI11PQA）

・電池パック（MOI11UAA）

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

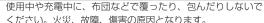
禁止	電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
禁止	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
禁止	接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片･鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。
禁止	金属製のストラップやアクセサリーをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
禁止	ACアダプターをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。
禁止	カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。
分解禁止	お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
禁止	屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
禁止	接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
禁止	本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。
水ぬれ禁止	水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプターの電源プラグを抜いてください。水漏れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
禁止	電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。
禁止	自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
禁止	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因になる場合があります。
禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプターに長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から電池フタや電池パックを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因になります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、ACアダプターをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について

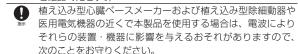
必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

指示

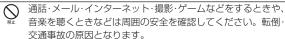
高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。（影響を与える機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

禁止

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

禁止

カメラのフラッシュをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてカメラのフラッシュを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

指示

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意　**必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

指示

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（側面）	プラスチック	光沢加工
外装ケース（電池フタ）	プラスチック	光沢加工
ディスプレイパネル	ガラス	―
背面カメラパネル	ガラス	―
キックスタンド	ステンレス鋼	クロムメッキ
受話口（レシーバー）	ステンレス鋼	クロムメッキ
スピーカー	ステンレス鋼	クロムメッキ
電源／ロックキー	メタル＋プラスチック	クロムメッキ
音量キー	メタル＋プラスチック	クロムメッキ
カメラキー	メタル＋プラスチック	クロムメッキ

禁止 キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止 メモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

指示 心臓の弱い方は、バイブ（振動）や音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

指示 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

指示 通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となるおそれがあります。

■電池パックについて

Li-ion 00

（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

禁止 電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分確認してから接続してください。

禁止 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止 持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解禁止 分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止 落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

水ぬれ禁止 電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

指示 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示 電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

指示 ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■充電用機器について

警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指示 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
付属のACアダプターはAC100VからAC240Vまで対応していますが、ACアダプターのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で充電する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプターが必要です。なお、海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

指示 ACアダプターの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだACアダプターやゆるんだコンセントは使用しないでください。

禁止 microUSBケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだmicroUSBケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

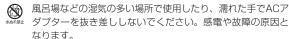
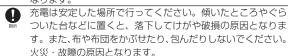
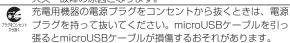
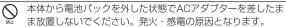
禁止 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く お手入れをするときは、充電用機器のプラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、充電用機器の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指示 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

指示	車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。
	長時間使用しない場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。
	水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプターの電源プラグを抜いてください。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

水ぬれ禁止	風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
指示	充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。
プラグをコンセントから抜く	充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。microUSBケーブルを引っ張るとmicroUSBケーブルが損傷するおそれがあります。
禁止	本体から電池パックを外した状態でACアダプターを差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ステレオヘッドセットについて

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

	ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。
	ケーブルを本体に巻き付けて使用しないでください。感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。ケーブルを引っ張って抜かないようにしてください。また、ケーブルを持って本体を吊り上げないでください。端子が破損するおそれがあります。
	接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。
	接続端子のコネクタは本体の接続端子に対して平行になるように抜き差ししてください。
	皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。ステレオヘッドセットで使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料
ケーブル	エラストマー、シリコーンゴム、ポリカーボネート
イヤホン部	ステンレス鋼、アルミニウム、ABS樹脂+ポリアミド、シリコーンゴム、ポリウレタン

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器をmicroUSB端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因になります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  ・水中での操作
- 電池パックを外したところに貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品が電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因になりますのでご注意ください。
- 長時間連続して表示し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB端子にmicroUSBケーブルを接続するときは、microUSB端子に対してmicroUSBケーブルのコネクタが平行になるように抜き差ししてください。

- microUSB端子にmicroUSBケーブルを接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のメモリカードスロットには、microSDメモリカード（市販品）またはmicroSDHCメモリカード（市販品）以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 近接センサー／明るさセンサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して、タッチパネルの操作ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

■タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池フタを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから外してください。
- 接続したmicroUSBケーブルを、ACアダプター本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- ACアダプターの電源プラグやmicroUSBケーブルとの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障･修理･その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますのでご注意ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。なお、実演、興行および展示物などには、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■音楽／動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータの複製・改変・編集などをする場合、個人で楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断でデータを使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像などを転送することはできません。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用する場合のお願い

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1
- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

2.4DS4/OF4
- **無線LAN機能：2.4DS/OF4**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

▬▬▬
2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

Bluetooth®についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

Bluetooth®ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業･科学･医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- 本製品の無線LAN機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

無線LANご使用上の注意

本製品の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。
※WiMAX機能をご利用いただく場合、別途月額利用料がかかります。

Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

Battery Use & Safety

Important: Motorola recommends you always use Motorola-branded batteries and chargers for quality assurance and safeguards. Motorola's warranty does not cover damage to the mobile device caused by non-Motorola batteries and/or chargers. To help you identify authentic Motorola batteries from non-original or counterfeit batteries (that may not have adequate safety protection), Motorola provides holograms on its batteries. You should confirm that any battery you purchase has a "Motorola Original" hologram.

If you see a message on your display such as Invalid Battery or Unable to Charge, take the following steps:

- Remove the battery and inspect it to confirm that it has a "Motorola Original" hologram;
- If there is no hologram, the battery is not a Motorola battery;
- If there is a hologram, replace the battery and try charging it again;
- If the message remains, contact a Motorola authorized service center.

Radio Frequency (RF) Energy

Exposure to RF Energy

Your mobile device contains a transmitter and receiver. When it is ON, it receives and transmits RF energy. When you communicate with your mobile device, the system handling your call controls the power level at which your mobile device transmits.

Your mobile device is designed to comply with local regulatory requirements in your country concerning exposure of human beings to RF energy.

RF Energy Operational Precautions

For optimal mobile device performance, and to be sure that human exposure to RF energy does not exceed the guidelines set forth in the relevant standards, always follow these instructions and precautions:

- When placing or receiving a phone call, hold your mobile device just like you would a landline phone.
- If you wear the mobile device on your body, always place the mobile device in a Motorola-supplied or approved clip, holder, holster, case, or body harness. If you do not use a body-worn accessory supplied or approved by Motorola, keep the mobile device and its antenna at least 2.5 cm (1 inch) from your body when transmitting.
- Using accessories not supplied or approved by Motorola may cause your mobile device to exceed RF energy exposure guidelines. For a list of Motorola-supplied or approved accessories, visit our Web site at: **www.motorola.com**.

RF Energy Interference/Compatibility

Nearly every electronic device is subject to RF energy interference from external sources if inadequately shielded, designed, or otherwise configured for RF energy compatibility. In some circumstances, your mobile device may cause interference with other devices.

Specific Absorption Rate (ICNIRP)

YOUR MOBILE DEVICE MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.

Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. The highest SAR values under the ICNIRP guidelines for your device model are listed below:

Head SAR	CDMA 800/2100 + Wi-Fi + Bluetooth	0.696 W/kg
Body-worn SAR	CDMA 800/2100 + Wi-Fi + Bluetooth	0.979 W/kg

During use, the actual SAR values for your device are usually well below the values stated. This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out using an approved accessory or at a separation distance of 2.5 cm (1 inch). To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be in an approved accessory or positioned at least 2.5 cm (1 inch) away from the body. If you are not using an approved accessory, ensure that whatever product is used is free of any metal and that it positions the phone at least 2.5 cm (1 inch) away from the body.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They recommend that if you are interested in further reducing your exposure then you can easily do so by limiting your usage or simply using a hands-free kit to keep the device away from the head and body.

Additional information can be found at **www.who.int/emf** (World Health Organization) or **www.motorola.com/rfhealth** (Motorola Mobility, Inc.).

Information from the World Health Organization

“A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phone pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established for mobile phone use.”

Source: WHO Fact Sheet 193

Further information: **http://www.who.int/emf**

European Union Directives Conformance Statement

The following CE compliance information is applicable to Motorola mobile devices that carry one of the following CE marks:

The CE mark demonstrates compliance for purposes of sale and use within the European Union and regions that recognize EU authorization. If your product does not have a CE mark, you should consult with your carrier before using in those areas.

CE 0168

CE 0168 ! [Only Indoor Use Allowed In France for Bluetooth and/or Wi-Fi]

Hereby, Motorola declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

You can view your product’s Declaration of Conformity (DoC) to Directive 1999/5/EC (to R&TTE Directive) at **www.motorola.com/rtte**. To find your DoC, enter the Product Approval Number from your product’s label in the “Search” bar on the website.

FCC Notice to Users

The following statement applies to all products that bear the FCC logo on the product label.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. See 47 CFR Sec. 15.105(b). These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See 47 CFR Sec. 15.19(3).

Motorola has not approved any changes or modifications to this device by the user. Any changes or modifications could void the user’s authority to operate the equipment. See 47 CFR Sec. 15.21.

For products that support Wi-Fi 802.11a (as defined in the product specifications available at **www.motorola.com**), the following information applies. This equipment has the capability to operate Wi-Fi in the 5 GHz Unlicensed National Information Infrastructure (U-NII) band. Because this band is shared with MSS (Mobile Satellite Service), the FCC has restricted such devices to indoor use only (see 47 CFR 15.407(e)). Since wireless hot spots operating in this band have the same restriction, outdoor services are not offered. Nevertheless, please do not operate this device in Wi-Fi mode when outdoors.

Location Services (GPS & AGPS)

The following information is applicable to Motorola mobile devices that provide location based (GPS and/or AGPS) functionality.

Your mobile device may use Global Positioning System (GPS) signals for location-based applications. GPS uses satellites controlled by the U.S. government that are subject to changes implemented in accordance with the Department of Defense policy and the Federal Radio Navigation Plan. These changes may affect the performance of location technology on your mobile device.

Your mobile device may also use Assisted Global Positioning System (AGPS), which obtains information from the cellular network to improve GPS performance. AGPS uses your wireless service provider's network and therefore airtime, data charges, and/or additional charges may apply in accordance with your service plan. Contact your wireless service provider for details.

Your Location

Location-based information includes information that can be used to determine the approximate location of a mobile device. Mobile devices which are connected to a wireless network transmit location-based information. Devices enabled with GPS or AGPS technology also transmit location-based information. Additionally, if you use applications that require location-based information (e.g. driving directions), such applications transmit location-based information. This location-based information may be shared with third parties, including your wireless service provider, applications providers, Motorola, and other third parties providing services.

Emergency Calls

When you make an emergency call, the cellular network may activate the AGPS technology in your mobile device to tell the emergency responders your approximate location.

AGPS has limitations and might not work in your area. Therefore:

- Always tell the emergency responder your location to the best of your ability; and
- Remain on the phone for as long as the emergency responder instructs you.

Navigation

The following information is applicable to Motorola mobile devices that provide navigation features.

When using navigation features, note that mapping information, directions and other navigational data may contain inaccurate or incomplete data. In some countries, complete information may not be available. Therefore, you should visually confirm that the navigational instructions are consistent with what you see. All drivers should pay attention to road conditions, closures, traffic, and all other factors that may impact driving. Always obey posted road signs.

Privacy & Data Security

Motorola understands that privacy and data security are important to everyone. Because some features of your mobile device may affect your privacy or data security, please follow these recommendations to enhance protection of your information:

- **Monitor access**—Keep your mobile device with you and do not leave it where others may have unmonitored access. Use your device’s security and lock features, where available.
- **Keep software up to date**—If Motorola or a software/application vendor releases a patch or software fix for your mobile device that updates the device’s security, install it as soon as possible.
- **Secure Personal Information**—Your mobile device can store personal information in various locations including your SIM card, memory card, and phone memory. Be sure to remove or clear all personal information before you recycle, return, or give away your device. You can also backup your personal data to transfer to a new device.

  Note: For information on how to backup or wipe data from your mobile device, go to **www.motorola.com/support**
- **Online accounts**—Some mobile devices provide a Motorola online account (such as MOTOBLUR). Go to your account for information on how to manage the account, and how to use security features such as remote wipe and device location (where available).
- **Applications and updates**—Choose your apps and updates carefully, and install from trusted sources only. Some apps can impact your phone’s performance and/or have access to private information including account details, call data, location details and network resources.

- **Wireless**—For mobile devices with Wi-Fi features, only connect to trusted Wi-Fi networks. Also, when using your device as a hotspot (where available) use network security. These precautions will help prevent unauthorized access to your device.
- **Location-based information**—Location-based information includes information that can be used to determine the approximate location of a mobile device. Mobile phones which are connected to a wireless network transmit location-based information. Devices enabled with GPS or AGPS technology also transmit location-based information. Additionally, if you use applications that require location-based information (e.g. driving directions), such applications transmit location-based information. This location-based information may be shared with third parties, including your wireless service provider, applications providers, Motorola, and other third parties providing services.
- **Other information your device may transmit**—Your device may also transmit testing and other diagnostic (including location-based) information, and other non-personal information to Motorola or other third-party servers. This information is used to help improve products and services offered by Motorola.

Software Copyright Notice

Motorola products may include copyrighted Motorola and third-party software stored in semiconductor memories or other media. Laws in the United States and other countries preserve for Motorola and third-party software providers certain exclusive rights for copyrighted software, such as the exclusive rights to distribute or reproduce the copyrighted software. Accordingly, any copyrighted software contained in Motorola products may not be modified, reverse-engineered, distributed, or reproduced in any manner to the extent allowed by law. Furthermore, the purchase of Motorola products shall not be deemed to grant either directly or by implication, estoppel, or otherwise, any license under the copyrights, patents, or patent applications of Motorola or any third-party software provider, except for the normal, non-exclusive, royalty-free license to use that arises by operation of law in the sale of a product.

Content Copyright

The unauthorized copying of copyrighted materials is contrary to the provisions of the Copyright Laws of the United States and other countries. This device is intended solely for copying non-copyrighted materials, materials in which you own the copyright, or materials which you are authorized or legally permitted to copy. If you are uncertain about your right to copy any material, please contact your legal advisor.

Open Source Software Information

For instructions on how to obtain a copy of any source code being made publicly available by Motorola related to software used in this Motorola mobile device, you may send your request in writing to the address below. Please make sure that the request includes the model number and the software version number.

MOTOROLA MOBILITY, INC.
OSS Management
600 North US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
USA

The Motorola website **opensource.motorola.com** also contains information regarding Motorola's use of open source.

Motorola has created the **opensource.motorola.com** website to serve as a portal for interaction with the software community-at-large.

To view additional information regarding licenses, acknowledgments and required copyright notices for open source packages used in this Motorola mobile device, please press **Menu Key** > **Settings** > **About phone** > **Legal information** > **Open source licenses**. In addition, this Motorola device may include self-contained applications that present supplemental notices for open source packages used in those applications.

Copyright & Trademarks

Motorola Mobility, Inc.
Consumer Advocacy Office
600 N US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
www.motorola.com

Certain features, services and applications are network dependent and may not be available in all areas; additional terms, conditions and/or charges may apply. Contact your service provider for details.

All features, functionality, and other product specifications, as well as the information contained in this guide, are based upon the latest available information and believed to be accurate at the time of printing. Motorola reserves the right to change or modify any information or specifications without notice or obligation.

MOTOROLA and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC. Google, the Google logo, Google Maps, Google Maps Navigation, Google Talk, Google Latitude, Google Finance, Gmail, YouTube, Picasa, Androidify, Android and Android Market are trademarks of Google, Inc. All other product or service names are the property of their respective owners.
© 2011 Motorola Mobility, Inc. All rights reserved.

Caution: Motorola does not take responsibility for changes/modification to the transceiver.

Product ID: MOTOROLA PHOTON™ ISW11M

《ISW11M取扱説明書 第1版のお詫びと訂正》

このたびは、MOTOROLA PHOTON™ ISW11M をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。取扱説明書詳細版 第1版の内容に一部誤りがございましたので、お詫びするとともに、ここに訂正いたします。

該当箇所：3ページ 目次

誤	正
緊急速報メール	緊急地震速報

該当箇所：25ページ 緊急速報メール

誤	正
緊急速報メール	緊急地震速報
緊急速報メールとは、緊急地震速報や災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。	緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

該当箇所：29ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：30ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：31ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：32ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：36ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：38ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：39ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：47ページ Eメール

誤	正
microSDメモリカード	内部ストレージ

該当箇所：91ページ 故障とお考えになる前に

誤	正
はい。利用できます。	はい。利用できます。 次のリンクから、Windows用のUSBドライバをダウンロードしてご利用ください。 http://www.motorola.com/Support/JP-JA/Consumer-Support/Mobile-Phones/Photon_4G-JP-JA
USBドライバが入手できない	どのような時にUSBドライバが必要ですか
USBドライバは必要ありません。	充電時とUSBマスストレージをご利用の場合は、USBドライバは必要ありません。USBテザリングご利用時は、次のリンクからWindows用のUSBドライバをダウンロードしてご利用ください。 http://www.motorola.com/Support/JP-JA/Consumer-Support/Mobile-Phones/Photon_4G-JP-JA

該当箇所：94ページ 主な仕様

誤	正
約16万色	約1600万色

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。
（無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されております。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年５月第２版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
製造元：Motorola Mobility, Inc.